

2022年12月14日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

家族愛に関する調査 2022

～今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”を何回伝えた？ 平均は 34.3 回
1 位「北海道」71.1 回、2 位「熊本県」66.7 回、3 位「神奈川県」60.0 回～

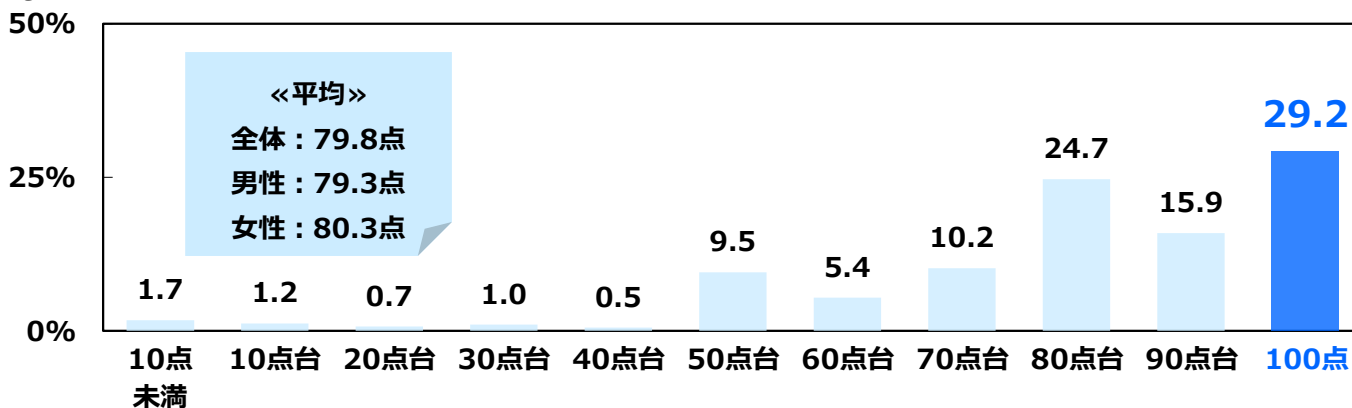
ジブラルタ生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：添田 毅司）は、20歳～69歳の既婚（事実婚含む）男女4,700名（男性2,350名 女性2,350名）を対象に、「家族愛に関する調査2022」をインターネットリサーチで実施し、集計結果を公開しました。（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

◆自身の家族愛を 100 点満点で評価 全体平均は 79.8 点、男性平均は 79.3 点、女性平均は 80.3 点
自己評価が高い都道府県 男性では 1 位「高知県」2 位「北海道」、女性では 1 位「京都府」2 位「広島県」「宮崎県」

自身の家族愛の点数を100点満点（0点：最低～100点：最高）で評価すると何点かを聞くと、「100点」が最多回答でした。“家族と強い絆を結ぶことができた”“家族に対してしっかりと愛情を注ぐことができた”と合格点をあげたいと感じている人が多いのかもしれませんが、全体平均は79.8点で、男性では平均79.3点、女性では平均80.3点でした。

都道府県別にみると、平均点は男性では1位「高知県」（84.6点）、2位「北海道」（84.3点）、女性では1位「京都府」（85.7点）、2位「広島県」「宮崎県」（85.0点）という結果になりました。

Q. 自身の家族愛の点数を100点満点（0点：最低～100点：最高）で評価すると何点？



自身の家族愛の点数（平均点）

男性		女性	
1位	高知県 84.6点	1位	京都府 85.7点
2位	北海道 84.3点	2位	広島県 85.0点
3位	青森県 84.2点	2位	宮崎県 85.0点
4位	滋賀県 83.2点	4位	石川県 84.5点
4位	熊本県 83.2点	5位	福島県 84.4点

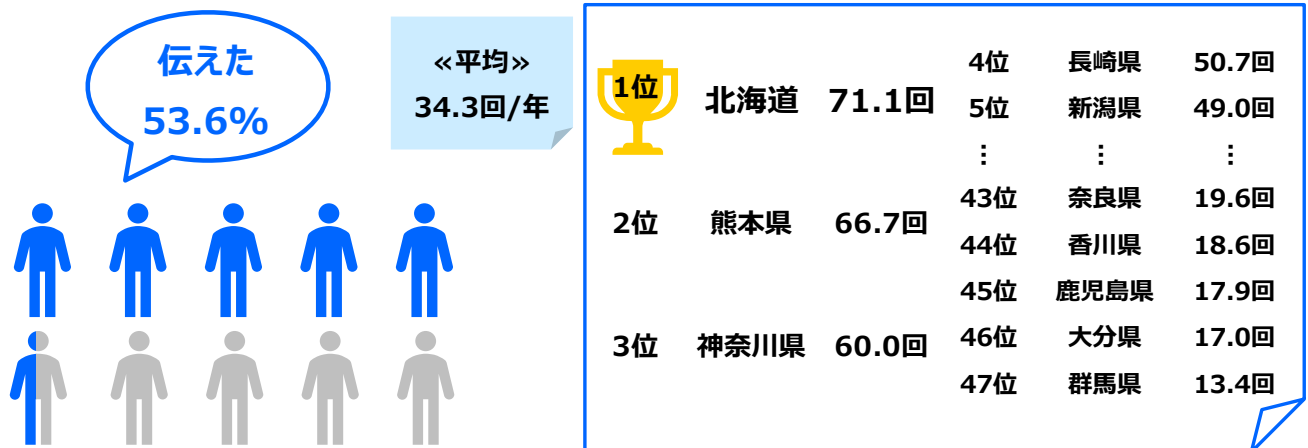
◆今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”を何回伝えた？ 平均は 34.3 回

1 位「北海道」71.1 回、2 位「熊本県」66.7 回、3 位「神奈川県」60.0 回 最下位は「群馬県」13.4 回

今年、配偶者・パートナーに何回くらい“愛の言葉”を伝えたかを聞くと、平均は34.3回。また、“愛の言葉”を伝えた人の割合は53.6%でした。“愛してるよ”や“好きだよ”としっかりと言葉で相手に伝えていた人が多いのではないのでしょうか。

都道府県別にみると、“愛の言葉”を伝えた回数の平均は、1位「北海道」（71.1回）、2位「熊本県」（66.7回）、3位「神奈川県」（60.0回）、最下位は「群馬県」（13.4回）でした。

Q. 今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”を伝えた？ 今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”を伝えた回数（平均）



◆家族愛が強いと思う芸能人 男性芸能人 1 位「ヒロミさん」、女性芸能人 1 位「辻希美さん」

“家族愛が強い”というイメージに合う芸能人を聞くと、男性芸能人では1位「ヒロミさん」、2位「杉浦太陽さん」、3位「つるの剛士さん」、女性芸能人では「辻希美さん」がダントツとなり、2位「北斗晶さん」、3位「杏さん」という結果に。杉浦太陽さん・辻希美さんは夫婦でそれぞれTOP3にランクインしました。

Q. “家族愛が強い”というイメージに合うと思う芸能人は？

男性芸能人			女性芸能人		
1位	ヒロミ	400名	1位	辻希美	642名
2位	杉浦太陽	330名	2位	北斗晶	256名
3位	つるの剛士	244名	3位	杏	138名
4位	木村拓哉	174名	4位	榊原郁恵	106名
5位	高橋英樹	154名	5位	工藤静香	94名

調査結果 index

◆家族観について

……p.5

- ・自分にとって家族とは？ 1位「心の支えになる存在」2位「安心できる存在」3位「助け合える存在」

◆家族関係について

……p.6～21

- ・「家族のグループLINEがある」全体の59%、都道府県別の1位は栃木県と石川県
- ・「配偶者・パートナーとSNSでつながっている」全体の72%、都道府県別の1位は広島県
- ・「子どもとSNSでつながっている」子どもがいる人の49%、都道府県別の1位は山形県
- ・「定期的に家族会議を行っている」全体の24%、都道府県別の1位は北海道
- ・「定期的に家族へ手紙を書いている」全体の7%、都道府県別の1位は秋田県
- ・配偶者・パートナーからどのように呼ばれている？ 男性1位「名前+くん・さん」、女性1位「名前の呼び捨て」
- ・子どもからどのように呼ばれている？ 男性1位「パパ」、女性1位「ママ」
「“パパ”と呼ばれている」のが最も多いのは大分県、「“ママ”と呼ばれている」のが最も多いのは群馬県
- ・第三者に妻・女性パートナーを紹介する際の呼び方
目上の人へは「妻」、近い知り合いや目下の人へは「嫁」が1位
- ・第三者に夫・男性パートナーを紹介する際の呼び方
目上の人へは「主人」、近い知り合いや目下の人へは「旦那」が1位
- ・「家族旅行・レジャーに積極的なのは“夫・男性パートナー”より“妻・女性パートナー”」52%、佐賀県では61%
- ・「近所付き合いに積極的なのは“夫・男性パートナー”より“妻・女性パートナー”」62%、兵庫県と大分県では76%
- ・「子どもと仲がいいのは“父親”より“母親”」79%、愛知県では88%
- ・「子どもをよく叱るのは“父親”より“母親”」70%、新潟県では80%
- ・「昨年より家族の距離が縮まった」38%、20代では66%
- ・「昨年より家族を守りたい気持ちが強まった」45%、20代では72%
- ・「昨年より配偶者・パートナーに対する評価が上がった」32%、20代では男女とも50%超
- ・親の41%が「昨年より子どもと会話する機会が増えた」と実感、20代では72%
- ・親の44%が「昨年より子どもに対する理解度が上昇した」と実感、20代では76%
- ・今年、家族との食事をどのくらいした？
「週に1回以上、家族揃って自宅で朝食を食べる」64%、「週に1回以上、家族揃って自宅で夕食を食べる」86%、
「週に1回以上、家族揃って外食をする」23%
- ・県外から帰省してきた家族をもてなす際に食べさせたい郷土料理・ご当地グルメ
北海道「ジンギスカン」、青森県「せんべい汁」、秋田県「きりたんぼ」、茨城県「あんこう鍋」、群馬県「焼きまんじゅう」、
福井県「ソースカツ丼」、山梨県「ほうとう」、岐阜県「鶏ちゃん」、愛知県「ひつまぶし」、和歌山県「和歌山ラーメン」、
島根県「出雲そば」、岡山県「ばら寿司」、愛媛県「鯛めし」、福岡県「もつ鍋」、鹿児島県「鶏飯」など
- ・「今年、家族揃って旅行をした」70%、「今年、家族揃って共通の趣味を楽しんだ」58%

◆家族愛について

……p.22～28

- ・自身の家族愛を100点満点で評価 全体平均は79.8点、男性平均は79.3点、女性平均は80.3点
自己評価が高い都道府県 男性では1位「高知県」2位「北海道」、女性では1位「京都府」2位「広島県」「宮崎県」
- ・今年、家族愛を感じたエピソード 「落ち込んでいるときに、励ましてくれた」「病気をしたとき、寄り添ってくれた」
「娘たちがサプライズで誕生日パーティーをしてくれた」「子どもたちがサプライズで還暦祝いをしてくれた」

「仕事から帰ると家族で出迎えてくれた」「娘が就職して初給料でご馳走してくれた」

「子どもが『パパとママへ』と手紙を書いてくれた」「旅行に行ってみんなで笑い合えた」といった心温まるエピソードが多数

・今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”を何回伝えた？ 平均は34.3回

1位「北海道」71.1回、2位「熊本県」66.7回、3位「神奈川県」60.0回 最下位は「群馬県」13.4回

・配偶者・パートナーへの“愛の言葉”の伝え方 「直接面と向かって」がダントツ、2位「メッセージアプリで」

・配偶者・パートナーに伝えたい“愛の言葉” 「いつもありがとう」「好きだよ」「愛してるよ」「健康でいてね」など
ご当地言葉・方言では「おおきに」「だんだん」「愛しとるよ」「愛しとーよ」「好きやで」「好きやよ」「好いとう」など

・家族に対し体調を気遣う際にかかる言葉 「大丈夫？」「元気？」「疲れてない？」「無理しないでね」など
ご当地言葉・方言では「いける？」「大丈夫け？」「しんどい？」「無理せんように」「無理したらあかんよ」など

・配偶者・パートナーに“ありがとう”と言っている回数 平均は3.6回/日、1位は福岡県で6.0回/日

言ったつもりでも伝わっていない？ “ありがとう”と言っている回数と言われている回数差 1位は新潟県で2.0回差/日

◆配偶者・パートナーとの喧嘩について

……p.29～31

・今年起きた夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩の回数は平均11.5回、1位は徳島県で21.0回

・配偶者・パートナーに“ごめんね”と言っている回数は平均5.8回/月、1位は鹿児島県で9.5回/月

・「喧嘩をしたときに先に謝るのは“妻・女性パートナー”より“夫・男性パートナー”」62%、徳島県では72%

・配偶者・パートナーに対して“イライラ”することがあるもの

TOP5「スマホばかり見ている」「電気・水が無駄遣いする」「イビキがうるさい」「家事をしない」「お金の無駄遣いをする」

◆親孝行について

……p.32～33

・これまでに自分が親にした親孝行 1位「プレゼントをする」2位「孫の顔を見せる」3位「一緒に外食する」

・これから親にしたいと思う親孝行 20代・30代の2人に1人が「孫の顔を見せる」と回答

・子どもにしてほしい親孝行 1位「元気な姿を見せてくれる」2位「一緒に旅行をしてくれる」3位「一緒に外食してくれる」

◆“家族愛”とエンタメ

……p.34～35

・家族愛が強いと思う芸能人 男性芸能人1位「ヒロミさん」、女性芸能人1位「辻希美さん」

・家族愛が強いと思うスポーツ選手 男性選手1位「長友佑都さん」、女性選手1位「浜口京子さん」

・家族愛が強いと思うアニメキャラ 男性キャラ1位「竈門炭治郎」、女性キャラ1位「フグ田サザエ」

・家族へ愛を伝える際に歌いたい曲

「家族になろうよ」がダントツ、2位「ありがとう」3位「HOME」「アイノカタチ」5位「糸」



本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563

アンケート調査結果

◆家族観について

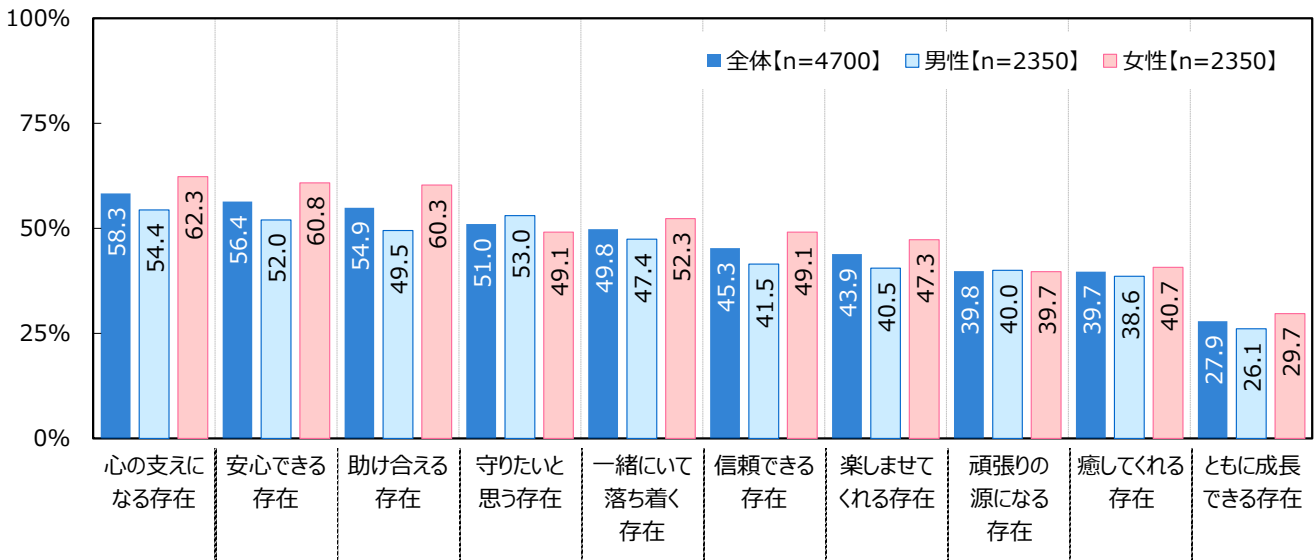
・自分にとって家族とは？ 1位「心の支えになる存在」2位「安心できる存在」3位「助け合える存在」

全国の20歳～69歳の既婚（事実婚含む）男女4,700名（全回答者）に対し、家族観について質問しました。

全回答者（4,700名）に、自分にとって“家族”とはどのような存在か聞いたところ、「心の支えになる存在」（58.3%）が最も高くなりました。家族が心の拠りどころになっている人が多いようです。次いで高くなったのは、「安心できる存在」（56.4%）、「助け合える存在」（54.9%）、「守りたいと思う存在」（51.0%）、「一緒にいて落ち着く存在」（49.8%）でした。

男女別にみると、女性では「助け合える存在」が60.3%と、男性（49.5%）と比べて10ポイント以上高くなりました。

◆自分にとって“家族”とはどのような存在か（複数回答形式） ※上位10位までを表示



◆家族関係について

・「家族のグループLINEがある」全体の59%、都道府県別の1位は栃木県と石川県

・「配偶者・パートナーとSNSでつながっている」全体の72%、都道府県別の1位は広島県

・「子どもとSNSでつながっている」子どもがいる人の49%、都道府県別の1位は山形県

家族関係について質問しました。

全回答者（4,700名）に、家族とのつながりについて聞いたところ、「家族のグループLINEがある」にあてはまる人の割合は59.3%となりました。LINEを活用して、家族間でコミュニケーションをとっている家族が多いようです。

都道府県別にみると、あてはまる人の割合は、栃木県と石川県（いずれも68.0%）が最も高くなり、兵庫県（67.0%）が続きました。

◆家族とのつながりについて、自身にあてはまるか（単一回答形式） ※あてはまる人の割合を表示

≪家族のグループLINEがある 全体：59.3%≫

各都道府県【n=100】

		%			%			%			%
1位	栃木県	68.0	12位	山形県	62.0	24位	北海道	59.0	35位	山口県	56.0
	石川県	68.0		大阪府	62.0		徳島県	59.0	37位	岩手県	55.0
3位	兵庫県	67.0	14位	新潟県	61.0		熊本県	59.0	39位	滋賀県	55.0
4位	神奈川県	66.0		富山県	61.0	大分県	59.0	青森県		54.0	
	長野県	66.0		島根県	61.0	沖縄県	59.0	茨城県		54.0	
6位	福島県	65.0		岡山県	61.0	29位	東京都	58.0		福井県	54.0
	埼玉県	65.0	広島県	61.0	山梨県		58.0	鹿児島県	54.0		
9位	宮崎県	65.0	愛媛県	61.0	33位	岐阜県	58.0	43位	群馬県	52.0	
	京都府	64.0	宮城県	60.0		愛知県	58.0		静岡県	52.0	
11位	高知県	64.0	鳥取県	60.0	35位	秋田県	57.0	三重県	52.0		
	千葉県	63.0	香川県	60.0		福岡県	57.0	佐賀県	52.0		
			長崎県	60.0		奈良県	56.0	47位	和歌山県	49.0	

「配偶者・パートナーと SNS でつながっている」にあてはまる人の割合は 71.7%となりました。大半の人が夫婦間・パートナーとのつながりを、SNS 上でも持っているようです。

都道府県別にみると、あてはまる人の割合は、広島県（80.0%）が最も高くなり、北海道と福島県（いずれも 79.0%）が続きました。

◆家族とのつながりについて、自身にあてはまるか（単一回答形式） ※あてはまる人の割合を表示

「配偶者・パートナーとSNSでつながっている 全体：71.7%」

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%		
1位	広島県	80.0	12位	宮城県	74.0	19位	宮崎県	72.0		
2位	北海道	79.0		岐阜県	74.0	25位	山形県	71.0		
	福島県	79.0		滋賀県	74.0		茨城県	71.0		
4位	神奈川県	78.0	16位	佐賀県	74.0		30位	石川県	71.0	
	熊本県	78.0		長野県	73.0	京都府		71.0		
6位	愛媛県	77.0	19位	高知県	73.0	鹿児島県		71.0		
	埼玉県	76.0		沖縄県	73.0	青森県	70.0			
7位	山梨県	76.0	19位	秋田県	72.0	千葉県	70.0			
	奈良県	76.0		島根県	72.0	東京都	70.0			
10位	静岡県	75.0	19位	岡山県	72.0	兵庫県	70.0			
	愛知県	75.0		香川県	72.0	鳥取県	70.0			
				福岡県	72.0	長崎県	70.0	30位	大分県	70.0
								37位	和歌山県	69.0
								38位	福井県	68.0
								39位	岩手県	67.0
									群馬県	67.0
								39位	新潟県	67.0
									三重県	67.0
									大阪府	67.0
								44位	富山県	65.0
									山口県	65.0
								46位	徳島県	64.0
								47位	栃木県	61.0

子どもがいる方（3,757名）に、子どもとの SNS でのつながりについて聞いたところ、「子どもと SNS でつながっている」にあてはまる人の割合は 49.3%となりました。

都道府県別にみると、あてはまる人の割合は、山形県（64.0%）が最も高くなり、秋田県（62.7%）、山口県（55.8%）が続きました。

◆家族とのつながりについて、自身にあてはまるか（単一回答形式） ※あてはまる人の割合を表示

「子どもとSNSでつながっている 全体：49.3%」 対象：子どもがいる方

順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%		
1位	山形県 (n=75)	64.0	12位	佐賀県 (n=85)	52.9	24位	栃木県 (n=86)	48.8		
2位	秋田県 (n=75)	62.7	13位	長崎県 (n=78)	52.6	25位	大阪府 (n=76)	48.7		
	山口県 (n=77)	55.8	14位	宮崎県 (n=92)	52.2	26位	北海道 (n=62)	48.4		
4位	千葉県 (n=79)	55.7	15位	神奈川県 (n=71)	52.1	27位	山梨県 (n=83)	48.2		
	愛媛県 (n=79)	55.7	16位	青森県 (n=75)	50.7	29位	愛知県 (n=83)	48.2		
6位	兵庫県 (n=85)	55.3		熊本県 (n=75)	50.7	29位	岩手県 (n=78)	47.4		
	7位	広島県 (n=78)	55.1	18位	福島県 (n=83)	50.6	30位	茨城県 (n=77)	46.8	
福岡県 (n=86)		54.7	静岡県 (n=77)		50.6	31位	岐阜県 (n=86)	46.5		
9位	埼玉県 (n=80)	53.8	21位	沖縄県 (n=87)	50.6	32位	富山県 (n=84)	46.4		
	埼玉県 (n=80)	53.8		宮城県 (n=86)	50.0		香川県 (n=84)	46.4		
10位	岡山県 (n=84)	53.6	21位	長野県 (n=80)	50.0	34位	高知県 (n=76)	46.1		
	奈良県 (n=81)	53.1		鳥取県 (n=74)	50.0	35位	鹿児島県 (n=79)	45.6		
								36位	島根県 (n=80)	45.0
								37位	東京都 (n=76)	44.7
								37位	新潟県 (n=76)	44.7
								39位	三重県 (n=82)	43.9
								40位	京都府 (n=73)	43.8
								41位	石川県 (n=76)	43.4
								42位	滋賀県 (n=84)	42.9
								42位	和歌山県 (n=84)	42.9
								44位	福井県 (n=80)	42.5
								45位	群馬県 (n=85)	42.4
								46位	徳島県 (n=81)	42.0
								47位	大分県 (n=84)	41.7

・「定期的に家族会議を行っている」全体の 24%、都道府県別の 1 位は北海道
・「定期的に家族へ手紙を書いている」全体の 7%、都道府県別の 1 位は秋田県

続いて、全回答者（4,700 名）に、家族とのコミュニケーションについて聞いたところ、「定期的に家族会議を行っている」にあてはまる人の割合は 23.5%となりました。定期的に家族が集まる機会を設け、抱えている悩みの相談や近況報告をし合う人は少なくないようです。

都道府県別にみると、あてはまる人の割合は、北海道（34.0%）が最も高くなり、沖縄県（32.0%）、岡山県と熊本県（いずれも 30.0%）が続きました。

◆家族とのつながりについて、自身にあてはまるか（単一回答形式） ※あてはまる人の割合を表示

◀定期的に家族会議を行っている 全体：23.5%▶

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
1位	北海道	34.0	11位	鳥取県	27.0	20位	広島県	24.0	33位	島根県	20.0
2位	沖縄県	32.0		香川県	27.0		高知県	24.0		佐賀県	20.0
3位	岡山県	30.0	14位	福井県	26.0	26位	秋田県	23.0		埼玉県	19.0
	熊本県	30.0		長野県	26.0		石川県	23.0	38位	富山県	19.0
5位	山口県	29.0		福島県	25.0		京都府	23.0		和歌山県	19.0
	福岡県	29.0	16位	山梨県	25.0	29位	東京都	22.0		徳島県	19.0
	青森県	28.0		静岡県	25.0		大阪府	22.0		愛媛県	19.0
7位	山形県	28.0		宮崎県	25.0	32位	奈良県	22.0	43位	大分県	18.0
	長崎県	28.0	20位	千葉県	24.0		栃木県	21.0	44位	岩手県	17.0
	鹿児島県	28.0		神奈川県	24.0	33位	宮城県	20.0	45位	群馬県	16.0
11位	兵庫県	27.0		愛知県	24.0		新潟県	20.0		岐阜県	16.0
				滋賀県	24.0		三重県	20.0	47位	茨城県	14.0

◀定期的に家族へ手紙を書いている▶にあてはまる人の割合は 7.4%となりました。

都道府県別にみると、あてはまる人の割合は、秋田県（14.0%）が最も高くなり、山形県と千葉県（いずれも 12.0%）が続きました。

◆家族とのつながりについて、自身にあてはまるか（単一回答形式） ※あてはまる人の割合を表示

◀定期的に家族へ手紙を書いている 全体：7.4%▶

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
1位	秋田県	14.0	8位	兵庫県	9.0		富山県	7.0		青森県	5.0
2位	山形県	12.0		香川県	9.0		福井県	7.0		宮城県	5.0
	千葉県	12.0		宮崎県	9.0		大阪府	7.0		群馬県	5.0
4位	北海道	11.0		愛知県	8.0	20位	奈良県	7.0	36位	石川県	5.0
5位	栃木県	10.0	15位	滋賀県	8.0		鳥取県	7.0		岐阜県	5.0
	山梨県	10.0		岡山県	8.0		広島県	7.0		和歌山県	5.0
	京都府	10.0		鹿児島県	8.0		徳島県	7.0		高知県	5.0
	岩手県	9.0		沖縄県	8.0		愛媛県	7.0		福岡県	5.0
8位	福島県	9.0	20位	埼玉県	7.0		熊本県	7.0		長崎県	5.0
	茨城県	9.0		東京都	7.0	33位	長野県	6.0		大分県	5.0
	静岡県	9.0		神奈川県	7.0		三重県	6.0	46位	山口県	4.0
				新潟県	7.0		島根県	6.0		佐賀県	4.0

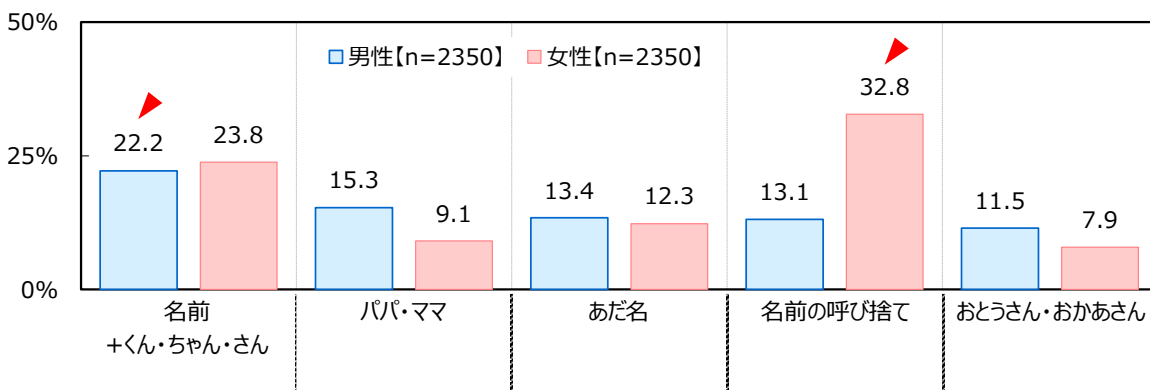
・配偶者・パートナーからどのように呼ばれている？ 男性 1 位「名前+くん・さん」、女性 1 位「名前の呼び捨て」

家族からの呼ばれ方について質問しました。

全回答者（4,700 名）に、希望する配偶者・パートナーからの呼ばれ方を聞いたところ、男性では「名前+くん・さん」（22.2%）が最も高くなり、「パパ」（15.3%）、「あだ名」（13.4%）、「名前の呼び捨て」（13.1%）、「おとうさん」（11.5%）が続きました。

他方、女性では「名前の呼び捨て」（32.8%）が突出して高くなり、「名前+ちゃん・さん」（23.8%）、「あだ名」（12.3%）、「ママ」（9.1%）、「おかあさん」（7.9%）が続きました。

◆希望する配偶者・パートナーからの呼ばれ方（単一回答形式） ※上位5位までを表示

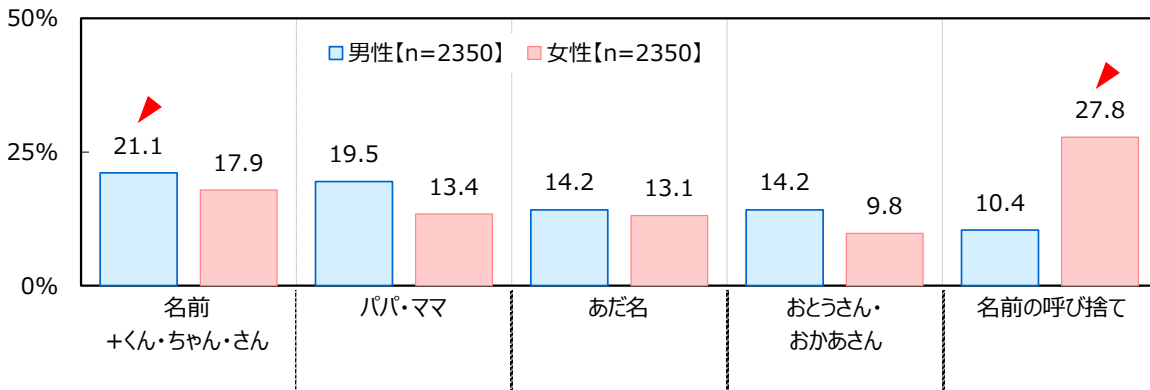


実際にされている配偶者・パートナーからの呼ばれ方を聞いたところ、男性では「名前+くん・さん」（21.1%）が最も高くなり、「パパ」（19.5%）、「あだ名」「おとうさん」（いずれも 14.2%）、「名前の呼び捨て」（10.4%）が続きました。

他方、女性では「名前の呼び捨て」（27.8%）が突出して高くなり、「名前+ちゃん・さん」（17.9%）、「ママ」（13.4%）、「あだ名」（13.1%）、「おかあさん」（9.8%）が続きました。

“希望する配偶者・パートナーからの呼ばれ方”とあわせてみると、男性・女性ともに“希望する呼ばれ方”の 1 位と“実際にされている呼ばれ方”の 1 位が同じ結果となりました。

◆実際にされている配偶者・パートナーからの呼ばれ方（単一回答形式） ※上位5位までを表示



住んでいる地域によって、呼ばれ方に違いはあるのでしょうか。

実際にされている配偶者・パートナーからの呼ばれ方を都道府県別にみると、男性では多くの都道府県で「名前+くん・さん」や「パパ」が1位となったほか、北海道や京都府などでは「あだ名」が1位でした。他方、女性では「名前の呼び捨て」が大多数となったほか、福島県と栃木県では「ママ」が1位、千葉県では「あだ名」が1位でした。

◆実際にされている配偶者・パートナーからの呼ばれ方（単一回答形式） ※都道府県別の1位を表示

	男性
北海道	あだ名
青森県	名前の呼び捨て / 名前+くん・さん / パパ
岩手県	パパ / おとうさん
宮城県	パパ
秋田県	パパ
山形県	パパ
福島県	パパ
茨城県	パパ
栃木県	名前+くん・さん
群馬県	パパ
埼玉県	パパ
千葉県	おとうさん
東京都	名前+くん・さん
神奈川県	パパ
新潟県	名前+くん・さん / あだ名
富山県	パパ
石川県	名前+くん・さん
福井県	パパ
山梨県	パパ
長野県	パパ
岐阜県	名前の呼び捨て
静岡県	パパ
愛知県	名前+くん・さん
三重県	パパ
滋賀県	おとうさん
京都府	あだ名
大阪府	名前+くん・さん / あだ名
兵庫県	名前+くん・さん
奈良県	パパ
和歌山県	パパ
鳥取県	おとうさん
島根県	おとうさん
岡山県	名前+くん・さん
広島県	おとうさん / あだ名
山口県	名前+くん・さん / パパ
徳島県	名前+くん・さん
香川県	名前+くん・さん
愛媛県	名前+くん・さん / あだ名
高知県	名前+くん・さん
福岡県	名前+くん・さん / あだ名
佐賀県	名前+くん・さん
長崎県	名前+くん・さん
熊本県	パパ
大分県	パパ
宮崎県	おとうさん
鹿児島県	名前+くん・さん
沖縄県	名前の呼び捨て / おとうさん

	女性
北海道	名前の呼び捨て
青森県	名前の呼び捨て
岩手県	名前の呼び捨て
宮城県	名前の呼び捨て
秋田県	名前の呼び捨て
山形県	名前の呼び捨て
福島県	ママ
茨城県	名前+ちゃん・さん
栃木県	ママ
群馬県	名前の呼び捨て
埼玉県	名前の呼び捨て
千葉県	あだ名
東京都	名前+ちゃん・さん
神奈川県	名前の呼び捨て / 名前+ちゃん・さん
新潟県	名前の呼び捨て
富山県	名前の呼び捨て
石川県	名前+ちゃん・さん
福井県	名前の呼び捨て
山梨県	名前の呼び捨て
長野県	名前の呼び捨て
岐阜県	名前の呼び捨て
静岡県	名前の呼び捨て
愛知県	名前の呼び捨て
三重県	名前の呼び捨て
滋賀県	名前+ちゃん・さん
京都府	名前の呼び捨て
大阪府	名前の呼び捨て
兵庫県	名前の呼び捨て
奈良県	名前の呼び捨て
和歌山県	名前の呼び捨て
鳥取県	名前の呼び捨て
島根県	名前の呼び捨て
岡山県	名前+ちゃん・さん
広島県	名前の呼び捨て
山口県	名前の呼び捨て
徳島県	名前の呼び捨て
香川県	名前の呼び捨て
愛媛県	名前の呼び捨て / 名前+ちゃん・さん
高知県	名前の呼び捨て
福岡県	名前+ちゃん・さん
佐賀県	名前の呼び捨て
長崎県	名前+ちゃん・さん
熊本県	名前の呼び捨て
大分県	名前+ちゃん・さん
宮崎県	名前の呼び捨て
鹿児島県	名前の呼び捨て
沖縄県	名前の呼び捨て

・子どもからどのように呼ばれている？ 男性 1 位「パパ」、女性 1 位「ママ」

「“パパ”と呼ばれている」のが最も多いのは大分県、「“ママ”と呼ばれている」のが最も多いのは群馬県

また、子どもがいる方（3,757 名）に、希望する子どもからの呼ばれ方を聞いたところ、男性では「おとうさん」と「パパ」（いずれも 31.6%）が最も高くなり、「とうさん」（9.5%）、「とうちゃん」（6.2%）、「おとうちゃん」（3.7%）が続きました。

他方、女性では「おかあさん」（37.8%）と「ママ」（35.9%）が突出して高くなり、「かあさん」（6.9%）、「かあちゃん」（名前+ちゃん・さん）（いずれも 2.7%）が続きました。

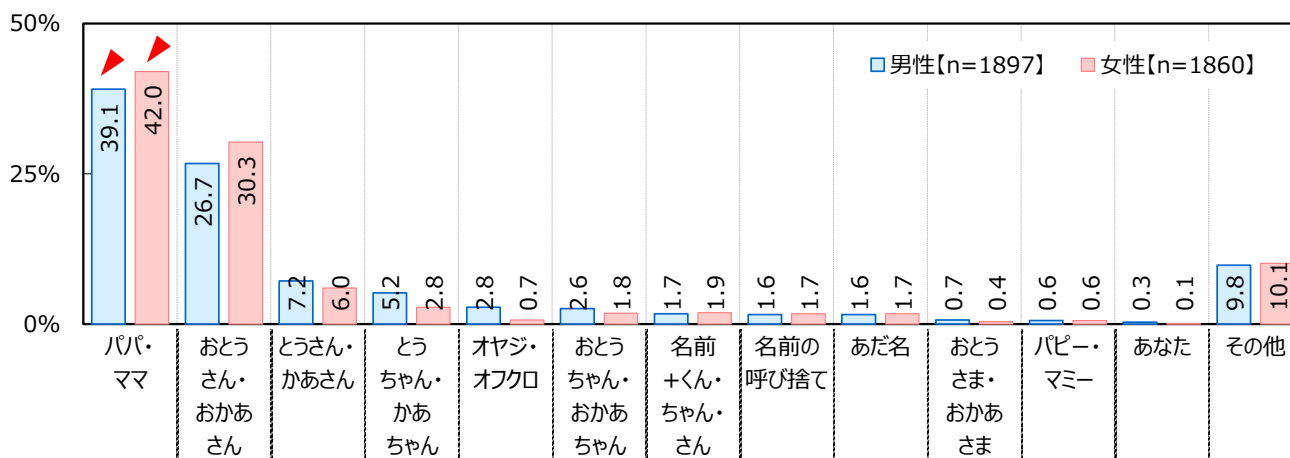
◆希望する子どもからの呼ばれ方（単一回答形式） 対象：子どもがいる方



実際にされている子どもからの呼ばれ方を聞いたところ、男性では「パパ」（39.1%）が突出して高くなり、「おとうさん」（26.7%）、「とうさん」（7.2%）、「とうちゃん」（5.2%）、「オヤジ」（2.8%）が続きました。

他方、女性では「ママ」（42.0%）が最も高くなり、「おかあさん」（30.3%）、「かあさん」（6.0%）、「かあちゃん」（2.8%）、「名前+ちゃん・さん」（1.9%）が続きました。

◆実際にされている子どもからの呼ばれ方（単一回答形式） 対象：子どもがいる方



実際にされている子どもからの呼ばれ方の TOP2 である「パパ・ママ」「おとうさん・おかあさん」について都道府県別にみると、「パパ」が最も高くなったのは大分県（60.5%）、「ママ」が最も高くなったのは群馬県（62.8%）でした。また、「おとうさん」が最も高くなったのは鳥取県（48.7%）、「おかあさん」が最も高くなったのは島根県（61.1%）でした。

◆実際にされている子どもからの呼ばれ方（単一回答形式）

※上位10位までを表示 対象：子どもがいる方

《パパ・ママ》

男性			女性		
		%			%
1位	大分県 (n=43)	60.5	1位	群馬県 (n=43)	62.8
2位	富山県 (n=43)	53.5	2位	東京都 (n=40)	62.5
	三重県 (n=43)	53.5	3位	山形県 (n=39)	59.0
4位	埼玉県 (n=40)	52.5	4位	奈良県 (n=38)	55.3
5位	群馬県 (n=42)	52.4	5位	新潟県 (n=37)	54.1
6位	滋賀県 (n=44)	52.3	6位	福井県 (n=41)	53.7
7位	山形県 (n=36)	50.0	7位	富山県 (n=41)	51.2
	和歌山県 (n=42)	50.0	8位	埼玉県 (n=40)	50.0
9位	栃木県 (n=41)	48.8	9位	福岡県 (n=44)	47.7
10位	熊本県 (n=39)	48.7		佐賀県 (n=44)	47.7

◆実際にされている子どもからの呼ばれ方（単一回答形式）

※上位10位までを表示 対象：子どもがいる方

《おとうさん・おかあさん》

男性			女性		
		%			%
1位	鳥取県 (n=39)	48.7	1位	島根県 (n=36)	61.1
2位	長崎県 (n=37)	48.6	2位	高知県 (n=38)	50.0
3位	島根県 (n=44)	45.5	3位	鹿児島県 (n=39)	46.2
4位	福島県 (n=41)	39.0	4位	鳥取県 (n=35)	45.7
5位	鹿児島県 (n=40)	37.5	5位	石川県 (n=38)	44.7
6位	石川県 (n=38)	36.8	6位	沖縄県 (n=44)	43.2
7位	宮崎県 (n=45)	35.6	7位	長崎県 (n=41)	41.5
8位	高知県 (n=38)	34.2	8位	北海道 (n=29)	37.9
	山形県 (n=36)	33.3	9位	京都府 (n=37)	37.8
9位	京都府 (n=36)	33.3	10位	愛媛県 (n=42)	35.7
	大阪府 (n=39)	33.3			
	広島県 (n=39)	33.3			

・第三者に妻・女性パートナーを紹介する際の呼び方

目上の人へは「妻」、近い知り合いや目下の人へは「嫁」が 1 位

・第三者に夫・男性パートナーを紹介する際の呼び方

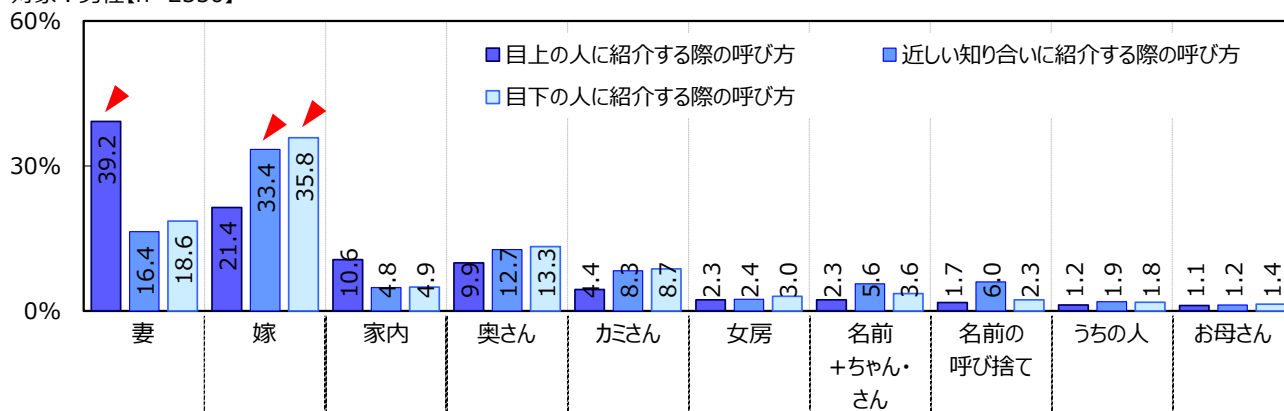
目上の人へは「主人」、近い知り合いや目下の人へは「旦那」が 1 位

では、自身の配偶者・パートナーを第三者に紹介する際、どのような呼び方をする人が多いのでしょうか。

まず、男性（2,350 名）に、妻・女性パートナーを第三者に紹介する際の呼び方について、「目上の人に紹介する際」「近い知り合いに紹介する際」「目下の人に紹介する際」の 3 つのケースごとに聞いたところ、「目上の人に紹介する際」では「妻」（39.2%）が最も高くなり、「嫁」（21.4%）が続きました。妻・女性パートナーを目上の人に紹介するとき、「妻」と呼ぶのが無難なことが多いものの、「妻」だと呼び方として堅い印象を持っている人が、少しくだけた「嫁」という呼び方を使っているケースがあるのかもしれません。他方、「近い知り合いに紹介する際」と「目下の人に紹介する際」では「嫁」（順に 33.4%、35.8%）が最も高くなり、「妻」（16.4%、18.6%）、「奥さん」（12.7%、13.3%）と続きました。「奥さん」は本来「他人の妻」を意味する言葉ですが、普段使っている人は少なくないようです。

◆第三者に妻・女性パートナーを紹介する際の呼び方（各単一回答形式） ※目上の人に紹介する際の呼び方の上位10位までを表示

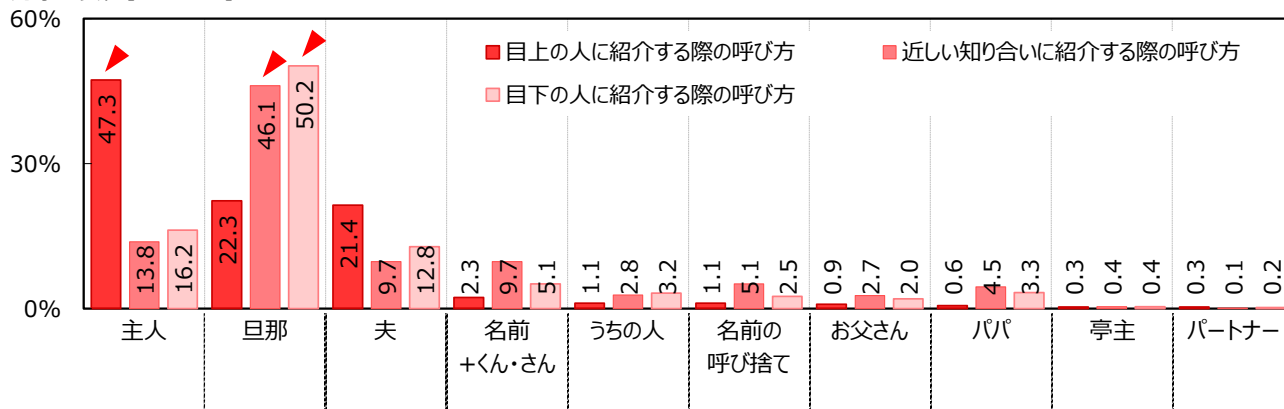
対象：男性【n=2350】



女性（2,350 名）に、夫・男性パートナーを第三者に紹介する際の呼び方について、「目上の人に紹介する際」「近い知り合いに紹介する際」「目下の人に紹介する際」の 3 つのケースごとに聞いたところ、「目上の人に紹介する際」では「主人」（47.3%）が最も高くなり、「旦那」（22.3%）、「夫」（21.4%）が続きました。男性が妻・女性パートナーを目上の人に紹介する場合と同様に、無難な呼び方である「夫」という言葉に堅い印象を持っている人がいるのではないのでしょうか。他方、「近い知り合いに紹介する際」と「目下の人に紹介する際」では「旦那」（順に 46.1%、50.2%）が最も高くなりました。

◆第三者に夫・男性パートナーを紹介する際の呼び方（各単一回答形式） ※目上の人に紹介する際の呼び方の上位10位までを表示

対象：女性【n=2350】



・「家族旅行・レジャーに積極的なのは“夫・男性パートナー”より“妻・女性パートナー”」52%、佐賀県では 61%
・「近所付き合いに積極的なのは“夫・男性パートナー”より“妻・女性パートナー”」62%、兵庫県と大分県では 76%

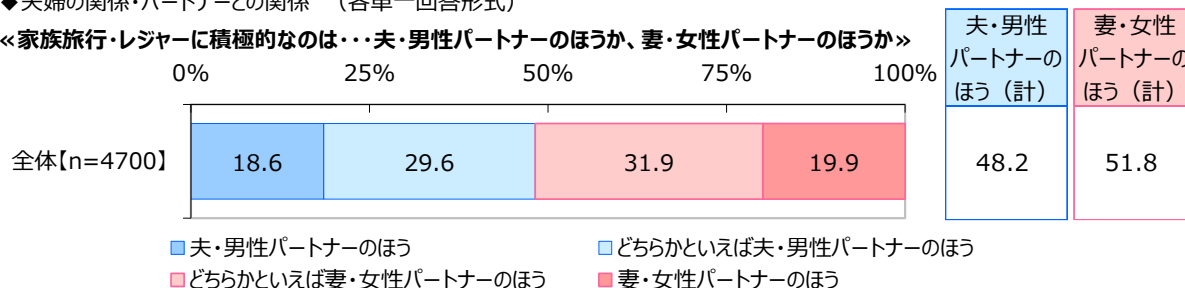
全回答者（4,700 名）に、夫婦の関係やパートナーとの関係を表すいくつかの行動や姿勢を挙げ、それぞれの内容に関して、自分と相手（配偶者・パートナー）のどちらのほうがあてはまるか聞き、「夫・男性パートナーのほう」と「妻・女性パートナーのほう」のどちらのほうがあてはまるかを集計しました。

「家族旅行・レジャーに積極的」では、「夫・男性パートナーのほう」が 18.6%、「どちらかといえば夫・男性パートナーのほう」が 29.6%で、合計した『夫・男性パートナーのほう（計）』は 48.2%、「妻・女性パートナーのほう」が 19.9%、「どちらかといえば妻・女性パートナーのほう」が 31.9%で、合計した『妻・女性パートナーのほう（計）』は 51.8%となりました。妻・女性パートナーのほう、家族旅行やレジャーなどの家族イベントに対し意欲的に取り組んでいるケースが多いようです。

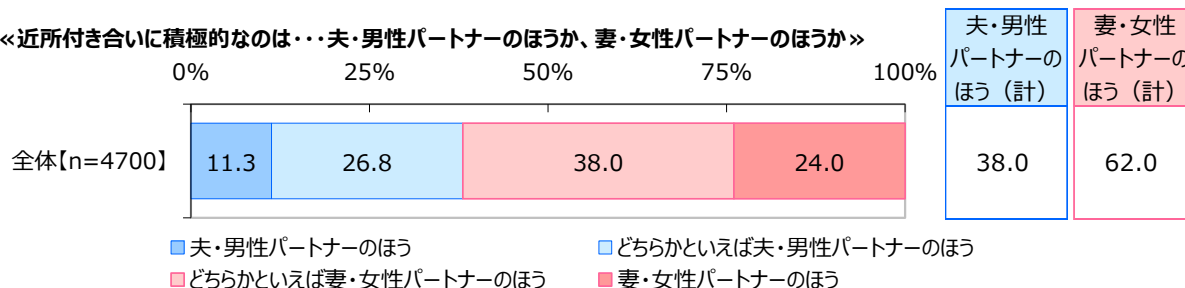
また、「近所付き合いに積極的」では、『夫・男性パートナーのほう（計）』は 38.0%、『妻・女性パートナーのほう（計）』は 62.0%でした。

◆夫婦の関係・パートナーとの関係（各単一回答形式）

「家族旅行・レジャーに積極的なのは…夫・男性パートナーのほうか、妻・女性パートナーのほうか」



「近所付き合いに積極的なのは…夫・男性パートナーのほうか、妻・女性パートナーのほうか」



都道府県別にみると、「家族旅行・レジャーに積極的」では、『夫・男性パートナーのほう（計）』が最も高かったのは福島県（62.0%）、『妻・女性パートナーのほう（計）』が最も高かったのは佐賀県（61.0%）でした。

「近所付き合いに積極的」では、『夫・男性パートナーのほう（計）』が最も高かったのは山梨県（58.0%）、『妻・女性パートナーのほう（計）』が最も高かったのは兵庫県と大分県（いずれも 76.0%）でした。

◆夫婦の関係・パートナーとの関係（単一回答形式）

「家族旅行・レジャーに積極的なのは」 ※上位5位までを表示

各都道府県【n=100】

順位	夫・男性パートナーのほう	%	順位	妻・女性パートナーのほう	%
1位	福島県	62.0	1位	佐賀県	61.0
2位	鳥取県	60.0	2位	兵庫県	60.0
3位	宮城県	57.0		島根県	60.0
4位	広島県	55.0	4位	大阪府	58.0
5位	富山県	54.0	5位	青森県/静岡県/徳島県	57.0

◆夫婦の関係・パートナーとの関係（単一回答形式）

「近所付き合いに積極的なのは」 ※上位5位までを表示

各都道府県【n=100】

順位	夫・男性パートナーのほう	%	順位	妻・女性パートナーのほう	%
1位	山梨県	58.0	1位	兵庫県	76.0
2位	福井県	56.0		大分県	76.0
3位	島根県	51.0	3位	京都府	75.0
4位	山形県	49.0	4位	大阪府	74.0
5位	長野県	48.0	5位	新潟県	72.0

・「子どもと仲がいいのは“父親”より“母親”」79%、愛知県では 88%

・「子どもをよく叱るのは“父親”より“母親”」70%、新潟県では 80%

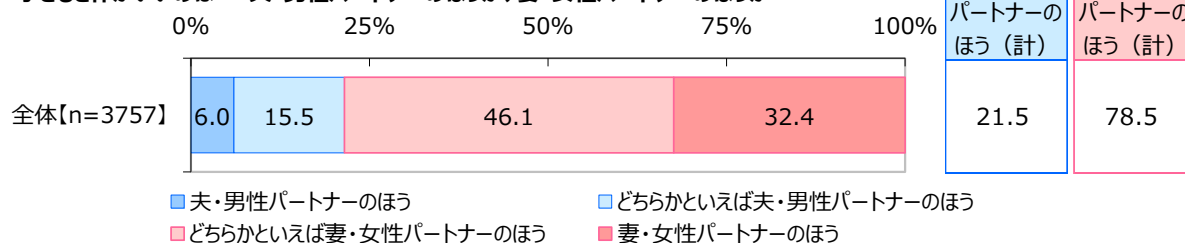
子どもがいる方（3,757名）に、子どもとの関係や子どもへの接し方を挙げ、それぞれの内容に関して、自分と相手（配偶者・パートナー）のどちらのほうがあてはまるか聞き、「夫・男性パートナーのほう」と「妻・女性パートナーのほう」のどちらのほうがあてはまるかを集計しました。

「子どもと仲がいい」では、『夫・男性パートナーのほう（計）』は 21.5%、『妻・女性パートナーのほう（計）』は 78.5% となりました。

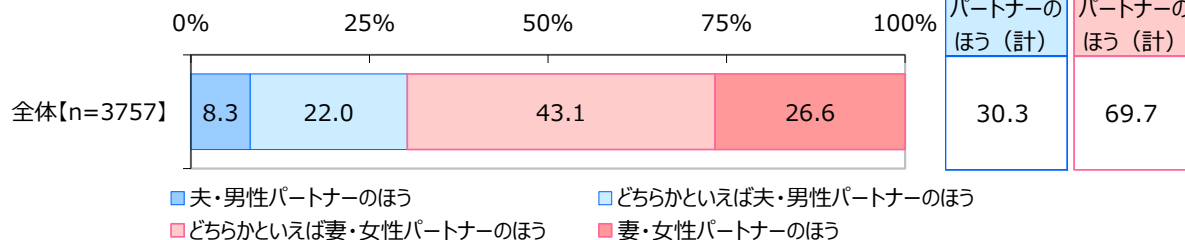
「子どもをよく叱る」では、『夫・男性パートナーのほう（計）』は 30.3%、『妻・女性パートナーのほう（計）』は 69.7% となりました。子どもと過ごす時間が長いいためか、父親よりも母親のほう子どもを叱る機会が多いようです。

◆子どもとの関係や子どもへの接し方（各単一回答形式） 対象：子どもがいる方

「子どもと仲がいいのは…夫・男性パートナーのほうか、妻・女性パートナーのほうか」



「子どもをよく叱るのは…夫・男性パートナーのほうか、妻・女性パートナーのほうか」



都道府県別にみると、「子どもと仲がいい」では、『夫・男性パートナーのほう（計）』が最も高くなったのは石川県（28.9%）、『妻・女性パートナーのほう（計）』が最も高くなったのは愛知県（88.0%）でした。

「子どもをよく叱る」では、『夫・男性パートナーのほう（計）』が最も高くなったのは鹿児島県（40.5%）、『妻・女性パートナーのほう（計）』が最も高くなったのは新潟県（80.3%）でした。

◆子どもとの関係や子どもへの接し方（単一回答形式）

対象：子どもがいる方 ※上位5位までを表示

「子どもと仲がいいのは」

	夫・男性パートナーのほう	%	妻・女性パートナーのほう	%
1位	石川県 (n=76)	28.9	1位 愛知県 (n=83)	88.0
2位	長野県 (n=80)	28.7	2位 新潟県 (n=76)	86.8
3位	三重県 (n=82)	28.0	3位 山口県 (n=77)	84.4
4位	福岡県 (n=86)	27.9	4位 鳥取県 (n=74)	83.8
5位	滋賀県 (n=84)	27.4	5位 鹿児島県 (n=79)	83.5

◆子どもとの関係や子どもへの接し方（単一回答形式）

対象：子どもがいる方 ※上位5位までを表示

「子どもをよく叱るのは」

	夫・男性パートナーのほう	%	妻・女性パートナーのほう	%
1位	鹿児島県 (n=79)	40.5	1位 新潟県 (n=76)	80.3
2位	和歌山県 (n=84)	38.1	2位 京都府 (n=73)	78.1
3位	秋田県 (n=75)	37.3	3位 栃木県 (n=86)	77.9
4位	三重県 (n=82)	36.6	4位 北海道 (n=62)	77.4
5位	兵庫県 (n=85)	36.5	5位 長崎県 (n=78)	76.9

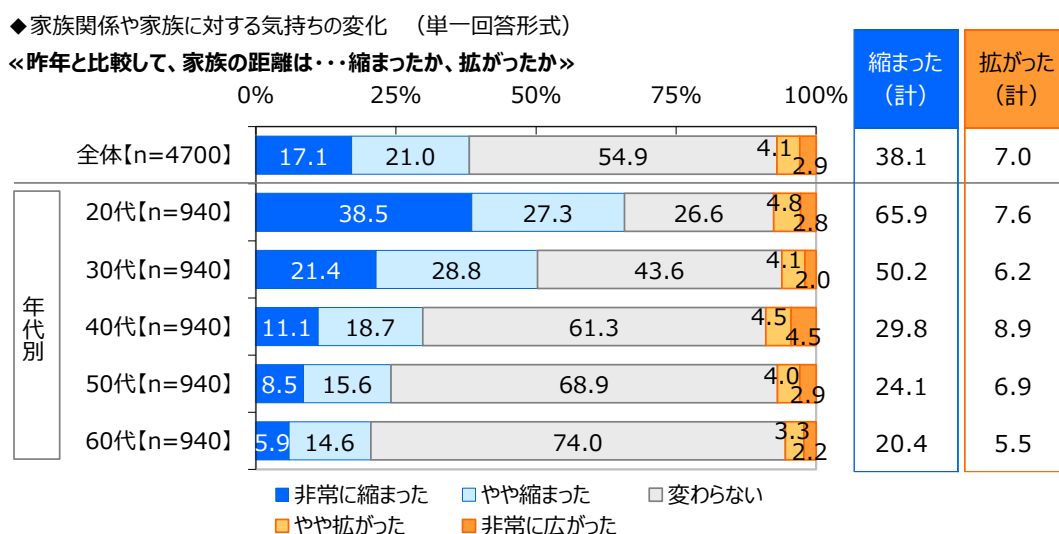
・「昨年より家族の距離が縮まった」38%、20代では66%

・「昨年より家族を守りたい気持ちが強まった」45%、20代では72%

全回答者（4,700名）に、家族関係や家族に対する気持ちの変化について質問しました。

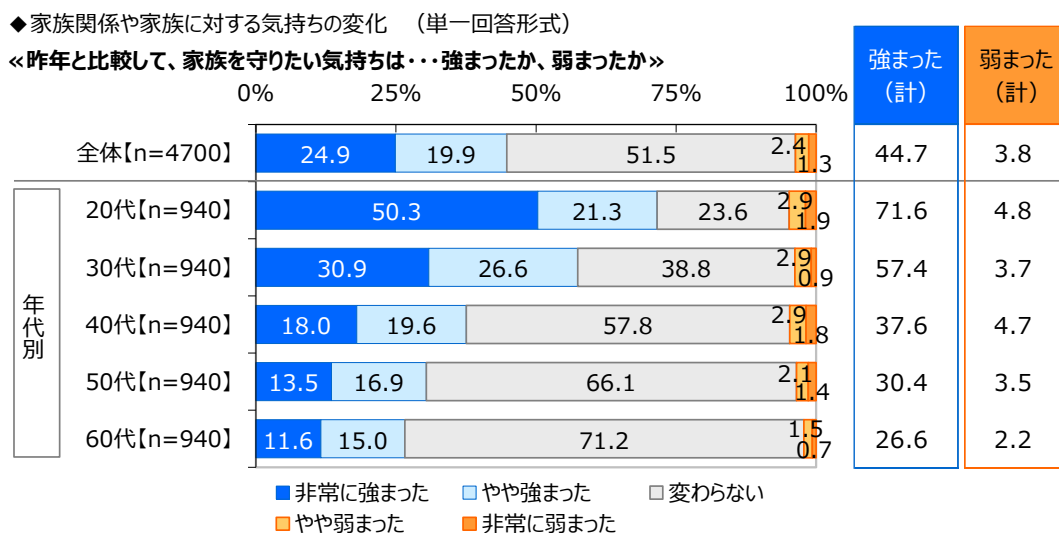
昨年と比較して、家族の距離は「縮まった」「広がった」のどちらにあてはまるか聞いたところ、「非常に縮まった」が17.1%、「やや縮まった」が21.0%で、合計した『縮まった（計）』は38.1%、「非常に広がった」が2.9%、「やや広がった」が4.1%で、合計した『広がった（計）』は7.0%となりました。コロナ禍以降、家族間のコミュニケーションの機会が増えたことで、お互いの距離が近くなったと感じている人が多いのではないのでしょうか。

年代別にみると、『縮まった（計）』と回答した人の割合は、20代（65.9%）が突出して高くなりました。



昨年と比較して、家族を守りたい気持ちは「強まった」「弱まった」のどちらにあてはまるか聞いたところ、「非常に強まった」が24.9%、「やや強まった」が19.9%で、合計した『強まった（計）』は44.7%、「非常に弱まった」が1.3%、「やや弱まった」が2.4%で、合計した『弱まった（計）』は3.8%となりました。

年代別にみると、『強まった（計）』と回答した人の割合は、若年層ほど高くなり、20代では71.6%でした。



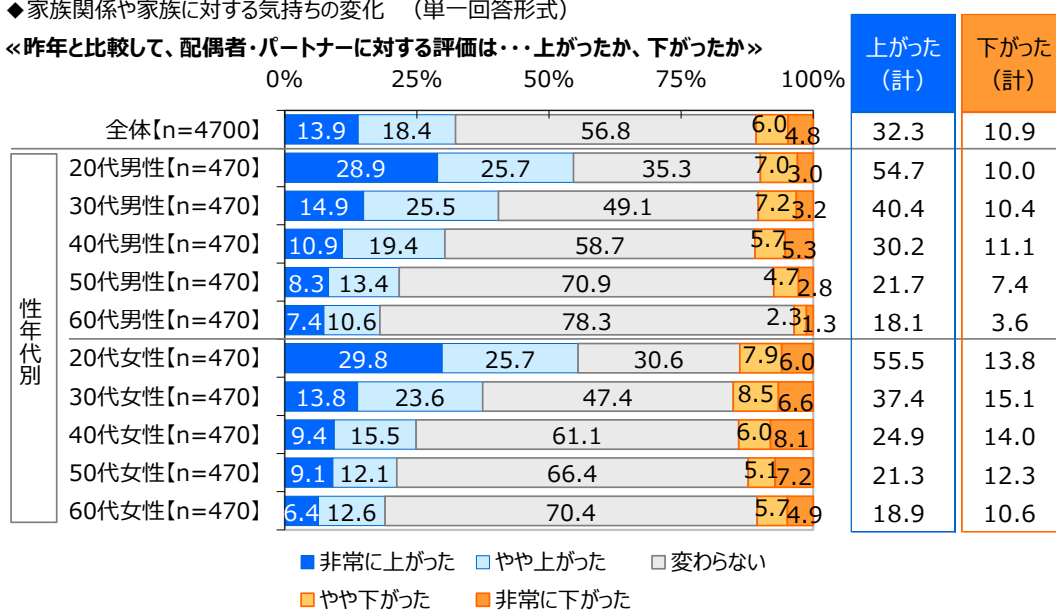
・「昨年より配偶者・パートナーに対する評価が上がった」32%、20代では男女とも50%超

また、昨年と比較して、配偶者・パートナーに対する評価は「上がった」「下がった」のどちらにあてはまるか聞いたところ、「非常に上がった」が13.9%、「やや上がった」が18.4%で、合計した『上がった（計）』は32.3%、「非常に下がった」が4.8%、「やや下がった」が6.0%で、合計した『下がった（計）』は10.9%となりました。生活様式や働き方の変化などで配偶者・パートナーの新たな良い一面を見ることができたり、コロナ禍での協力関係を通して相手への信頼感が強まったりしたケースがあるのではないのでしょうか。

性年代別にみると、『上がった（計）』と回答した人の割合は、男女とも20代（男性54.7%、女性55.5%）が最も高く、半数を超えました。

◆家族関係や家族に対する気持ちの変化（単一回答形式）

「昨年と比較して、配偶者・パートナーに対する評価は・・・上がったか、下がったか」



・親の41%が「昨年より子どもと会話する機会が増えた」と実感、20代では72%

・親の44%が「昨年より子どもに対する理解度が上昇した」と実感、20代では76%

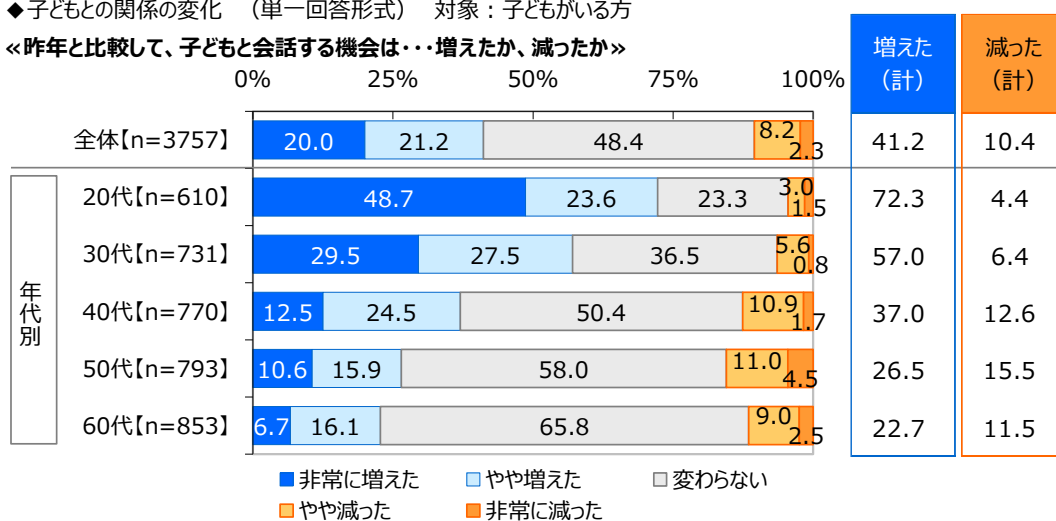
子どもがいる方（3,757名）に、子どもとの関係の変化について質問しました。

昨年と比較して、子どもと会話する機会は「増えた」「減った」のどちらにあてはまるか聞いたところ、「非常に増えた」が20.0%、「やや増えた」が21.2%で、合計した『増えた（計）』は41.2%、「非常に減った」が2.3%、「やや減った」が8.2%で、合計した『減った（計）』は10.4%となりました。コロナ禍で子どもと過ごす時間が増え、コミュニケーションをたくさんとれるようになったと感じている人が多いのではないのでしょうか。

年代別にみると、『増えた（計）』と回答した人の割合は、20代（72.3%）が突出して高くなりました。

◆子どもとの関係の変化（単一回答形式） 対象：子どもがいる方

「昨年と比較して、子どもと会話する機会は・・・増えたか、減ったか」

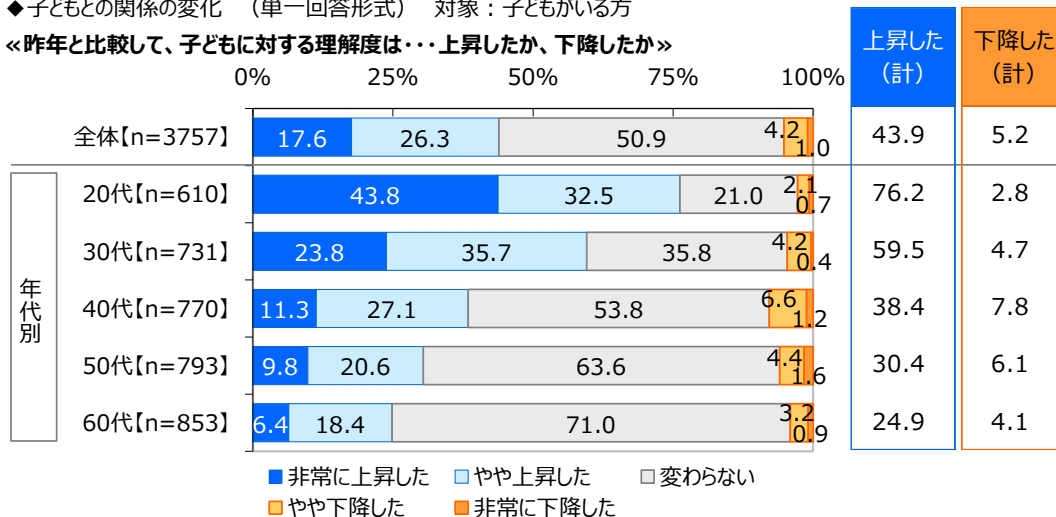


昨年と比較して、子どもに対する理解度は「上昇した」「下降した」のどちらにあてはまるか聞いたところ、「非常に上昇した」が17.6%、「やや上昇した」が26.3%で、合計した『上昇した（計）』は43.9%、「非常に下降した」が1.0%、「やや下降した」が4.2%で、合計した『下降した（計）』は5.2%となりました。子どもとのコミュニケーションの機会の増加が、子どもに対する理解度の上昇に役立っているケースは多いのではないのでしょうか。

年代別にみると、『上昇した（計）』と回答した人の割合は、20代（76.2%）が突出して高く、4人に3人の割合となりました。

◆子どもとの関係の変化（単一回答形式） 対象：子どもがいる方

「昨年と比較して、子どもに対する理解度は・・・上昇したか、下降したか」



・今年、家族との食事をどのくらいした？

「週に1回以上、家族揃って自宅で朝食を食べる」64%、「週に1回以上、家族揃って自宅で夕食を食べる」86%、「週に1回以上、家族揃って外食をする」23%

家族との食事の頻度について質問しました。

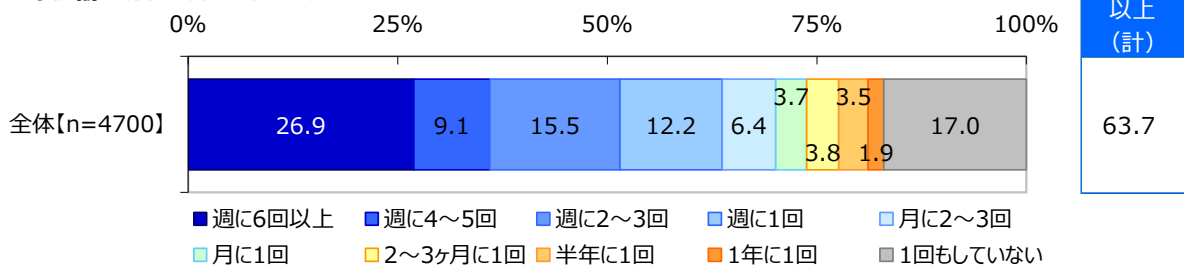
全回答者（4,700名）に、今年、家族との食事をどのくらいの頻度で行ったか聞いたところ、「家族揃って自宅で朝食を食べる」では「週に6回以上」が26.9%、「週に4～5回」が9.1%、「週に2～3回」が15.5%、「週に1回」が12.2%で、合計した『週に1回以上（計）』は63.7%となり、「1回もしていない」は17.0%でした。

「家族揃って自宅で夕食を食べる」では『週に1回以上（計）』は86.3%となりました。大多数の家庭では、週に1回以上は家族で食卓を囲み夕食を楽しんでいることがわかりました。

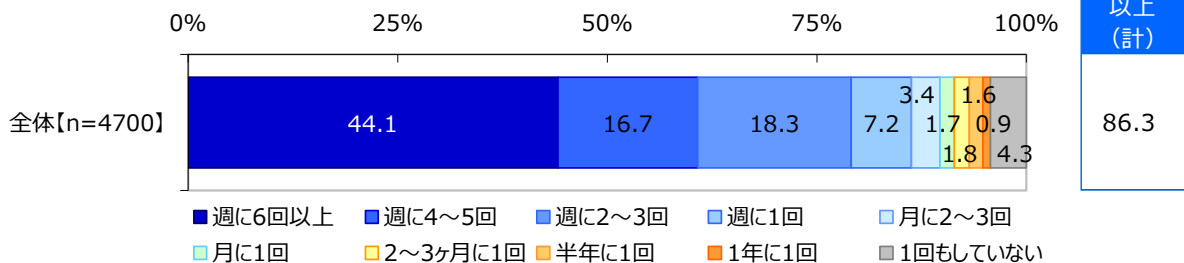
また、「家族揃って外食をする」では『週に1回以上（計）』は23.3%、「1回もしていない」は8.6%となりました。

◆今年、家族との食事をどのくらいの頻度で行ったか（各単一回答形式）

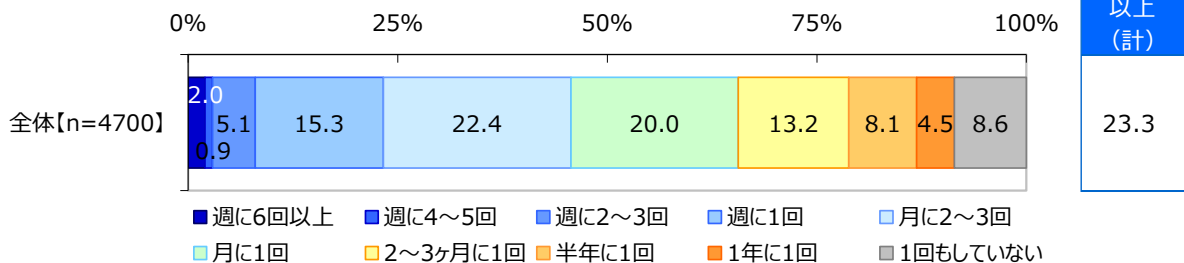
「家族揃って自宅で朝食を食べる」



「家族揃って自宅で夕食を食べる」



「家族揃って外食をする」



・県外から帰省してきた家族をもてなす際に食べさせたい郷土料理・ご当地グルメ

北海道「ジンギスカン」、青森県「せんべい汁」、秋田県「きりたんぼ」、茨城県「あんこう鍋」、群馬県「焼きまんじゅう」、福井県「ソースカツ丼」、山梨県「ほうとう」、岐阜県「鶏ちゃん」、愛知県「ひつまぶし」、和歌山県「和歌山ラーメン」、島根県「出雲そば」、岡山県「ばら寿司」、愛媛県「鯛めし」、福岡県「もつ鍋」、鹿児島県「鶏飯」など

では、県外から帰省してきた家族をもてなす場合、どのような食事を食べてもらいたいと思う人が多いのでしょうか。都道府県ごとの郷土料理やご当地グルメについて質問しました。

全回答者（4,700名）に、県外から帰省してきた家族をもてなす際に食べさせたいと思う郷土料理・ご当地グルメを聞いたところ、北海道・東北では「ジンギスカン」（北海道）や「せんべい汁」（青森県）、「きりたんぼ」（秋田県）、関東では「あんこう鍋」（茨城県）や「餃子」（栃木県）、「焼きまんじゅう」（群馬県）、北陸・甲信越では「寿司（ます寿司含む）」（富山県）や「ソースカツ丼」（福井県）、「ほうとう」（山梨県）、東海では「鶏ちゃん」（岐阜県）や「うなぎ」（静岡県）、「ひつまぶし」（愛知県）、近畿では「近江牛」（滋賀県）や「たご焼き」（大阪府）、「和歌山ラーメン」（和歌山県）、中国・四国では「出雲そば」（島根県）や「ばら寿司」（岡山県）、「鯛めし」（愛媛県）、九州・沖縄では「もつ鍋」（福岡県）や「とり天」（大分県）、「鶏飯」（鹿児島県）といった郷土料理・ご当地グルメが1位でした。

◆県外から帰省してきた家族をもてなす際に食べさせたいと思う郷土料理・ご当地グルメ（自由回答形式） ※都道府県別の1位を表示
各都道府県【n=100】

北海道	ジンギスカン
青森県	せんべい汁
岩手県	冷麺
宮城県	牛タン
秋田県	きりたんぼ
山形県	芋煮
福島県	こづゆ
茨城県	あんこう鍋
栃木県	餃子
群馬県	焼きまんじゅう
埼玉県	うどん
千葉県	寿司
東京都	寿司
神奈川県	餃子
新潟県	のっぺ
富山県	寿司（ます寿司含む）
石川県	寿司
福井県	ソースカツ丼
山梨県	ほうとう
長野県	そば
岐阜県	鶏ちゃん
静岡県	うなぎ
愛知県	ひつまぶし
三重県	トンテキ

滋賀県	近江牛
京都府	すき焼き
大阪府	たご焼き
兵庫県	お好み焼き / たご焼き
奈良県	柿の葉寿司
和歌山県	和歌山ラーメン
鳥取県	カニ
島根県	出雲そば
岡山県	ばら寿司
広島県	お好み焼き
山口県	瓦そば
徳島県	徳島ラーメン
香川県	うどん
愛媛県	鯛めし
高知県	かつおのたたき
福岡県	もつ鍋
佐賀県	呼子のイカ
長崎県	ちゃんぽん
熊本県	馬刺し
大分県	とり天
宮崎県	チキン南蛮
鹿児島県	鶏飯
沖縄県	沖縄そば

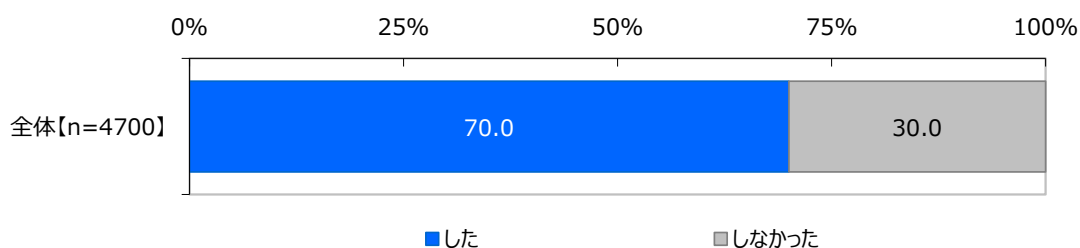
・「今年、家族揃って旅行をした」70%、「今年、家族揃って共通の趣味を楽しんだ」58%

家族との旅行や趣味について質問しました。

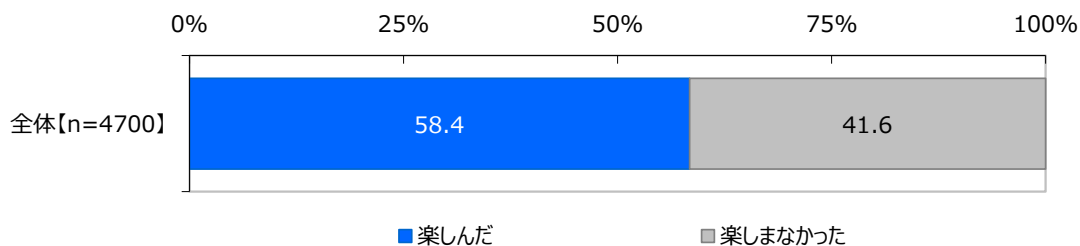
全回答者（4,700名）に、今年、家族揃って旅行をしたか聞いたところ、「した」は70.0%、「しなかった」は30.0%となりました。今年、大半の家庭が家族水入らずの旅行を楽しんだようです。

また、今年、家族揃って共通の趣味を楽しんだか聞いたところ、「楽しんだ」は58.4%、「楽しまなかった」は41.6%となりました。

◆今年、家族揃って旅行をしたか（単一回答形式）



◆今年、家族揃って共通の趣味を楽しんだか（単一回答形式）



◆家族愛について

・自身の家族愛を100点満点で評価 全体平均は79.8点、男性平均は79.3点、女性平均は80.3点

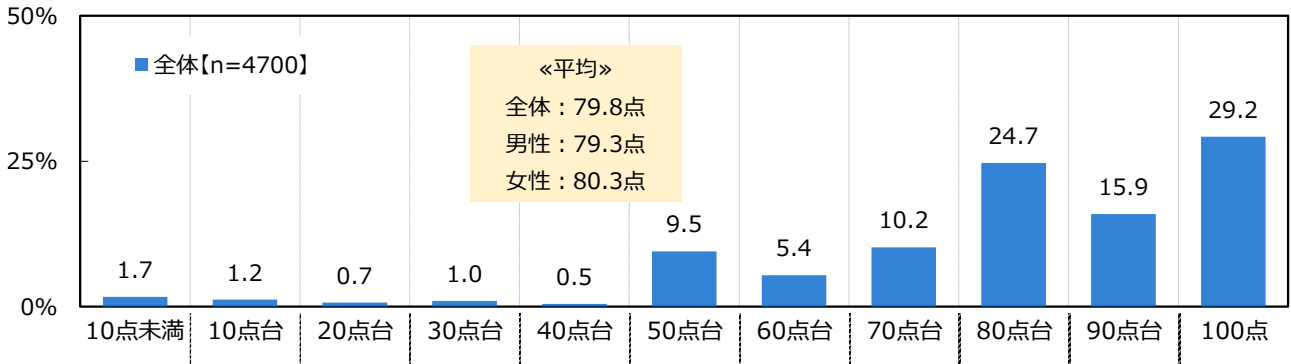
自己評価が高い都道府県 男性では1位「高知県」2位「北海道」、女性では1位「京都府」2位「広島県」「宮崎県」

家族愛について質問しました。

全回答者（4,700名）に、自身の家族愛の点数を100点満点（0点：最低～100点：最高）で評価すると何点か聞いたところ、「100点」（29.2%）に最も多くの回答が集まり、「80点台」（24.7%）や「90点台」（15.9%）にも多くの回答がみられ、平均は79.8点でした。家族と強い絆を結ぶことができている、家族に対してしっかりと愛情を注ぐことができていると感じている人が多いのではないのでしょうか。

男女別に見ると、平均は男性では79.3点、女性では80.3点でした。

◆自身の家族愛の点数を100点満点（0点：最低～100点：最高）で評価すると何点か（数値入力形式）



男女・都道府県別に見ると、平均は男性では1位が高知県（84.6点）、2位が北海道（84.3点）、3位が青森県（84.2点）、女性では1位が京都府（85.7点）、2位が広島県と宮崎県（いずれも85.0点）でした。

◆自身の家族愛の点数（平均点）（数値入力形式）

男性・各都道府県【n=50】

順位	都道府県	点	順位	都道府県	点	順位	都道府県	点	順位	都道府県	点
1位	高知県	84.6	11位	奈良県	81.7	24位	群馬県	79.6	36位	山形県	77.4
2位	北海道	84.3		山梨県	81.2	25位	佐賀県	79.4	37位	広島県	77.2
3位	青森県	84.2	13位	岐阜県	81.2	26位	大分県	79.3	38位	埼玉県	77.0
4位	滋賀県	83.2		兵庫県	81.2	27位	長野県	79.2	39位	福島県	76.4
6位	熊本県	83.2		宮崎県	81.2	28位	宮城県	79.1	41位	千葉県	76.4
7位	石川県	83.0	17位	東京都	80.7	28位	福岡県	79.1	42位	香川県	76.1
	和歌山県	82.3	18位	長崎県	80.5	30位	福井県	79.0	43位	新潟県	75.9
	岡山県	82.3	19位	沖縄県	80.1	31位	静岡県	78.6	44位	愛知県	74.8
9位	茨城県	82.2	20位	富山県	79.8	31位	山口県	78.6	44位	栃木県	74.3
	愛媛県	82.2		鹿児島県	79.8	33位	三重県	78.4	45位	秋田県	73.7
11位	大阪府	81.7	22位	京都府	79.7	34位	島根県	77.8	46位	徳島県	73.5
				鳥取県	79.7	35位	神奈川県	77.6	47位	岩手県	69.7

女性・各都道府県【n=50】

順位	都道府県	点	順位	都道府県	点	順位	都道府県	点	順位	都道府県	点
1位	京都府	85.7	12位	香川県	82.0	24位	大阪府	80.2	36位	山梨県	78.2
2位	広島県	85.0	13位	北海道	81.7	25位	山形県	80.0	37位	愛媛県	78.0
	宮崎県	85.0		静岡県	81.6		群馬県	79.7	38位	青森県	77.8
4位	石川県	84.5	14位	佐賀県	81.6	26位	埼玉県	79.7	39位	茨城県	77.5
5位	福島県	84.4		長崎県	81.6		東京都	79.7	40位	島根県	77.4
6位	山口県	84.2		沖縄県	81.6	29位	千葉県	79.6	41位	富山県	76.9
7位	三重県	83.8	18位	徳島県	81.3	30位	愛知県	79.5	42位	岩手県	76.6
8位	新潟県	83.6	19位	熊本県	81.2	31位	滋賀県	79.3	43位	福岡県	76.4
9位	福井県	83.3	20位	神奈川県	81.1	31位	和歌山県	79.2	44位	宮城県	76.3
10位	大分県	83.0	21位	鳥取県	81.0	32位	岡山県	79.2	45位	長野県	75.8
11位	鹿児島県	82.8	22位	兵庫県	80.5	34位	栃木県	78.9	46位	岐阜県	75.4
				高知県	80.5	35位	秋田県	78.3	47位	奈良県	72.6

・今年、家族愛を感じたエピソード「落ち込んでいるときに、励ましてくれた」「病気をしたとき、寄り添ってくれた」「娘たちがサプライズで誕生日パーティーをしてくれた」「子どもたちがサプライズで還暦祝いをしてくれた」「仕事から帰ると家族で出迎えてくれた」「娘が就職して初給料でご馳走してくれた」「子どもが『パパとママへ』と手紙を書いてくれた」「旅行に行ってみみんなで笑い合えた」といった心温まるエピソードが多数

全回答者（4,700名）に、今年、家族愛を実感したエピソードを聞いたところ、＜日常・支え＞に関することでは「落ち込んでいるときに、そばにいてくれて励ましてくれた」（20代女性）や「疲れているのを察して家事の手伝いをしてくれた」（50代女性）、「病気をしたとき、寄り添ってくれた」（60代女性）、「コロナで寝込んだ際、妻が寝ずにつきっきりで看病してくれた」（40代男性）、「コロナになったとき、仕事を休んでつきっきりで看病してくれた」（20代男性）といったエピソードがありました。辛いときや疲れているときなどに、家族が親身になって寄り添ってくれたことがうれしかったという人が多いようです。

＜お祝い＞に関することでは「娘たちがサプライズで誕生日パーティーをしてくれた」（60代女性）や「母の日に子どもたちと夫が協力してプレゼントを用意してくれた」（40代女性）、「みんなで家族の誕生日を祝った」（40代男性）、「子どもたちがサプライズで還暦祝いをしてくれた」（60代女性）、＜仕事＞に関することでは「夜遅くに仕事から帰ってきたとき、起きて待っていてくれた」（20代男性）や「仕事から帰ると家族で出迎えてくれた」（30代男性）、「仕事で苦しいときもそばに寄り添って支えてくれた」（30代男性）といったエピソードがありました。

また、＜子ども＞に関することでは「離れて暮らしている子どもから誕生日のメッセージが来た」（50代男性）や「娘が就職して初給料でご馳走してくれた」（50代女性）、「子どもが『パパとママへ』と手紙を書いてくれた」（20代男性）、＜旅行＞に関することでは「旅行に行ってみみんなで笑い合えた」（20代女性）や「旅行に出かけて美味しい料理や綺麗な景色を楽しめた」（40代女性）、「旅行でサプライズをしてくれた」（20代女性）といったエピソードがありました。

◆今年、家族愛を実感したエピソード（自由回答形式） ※抜粋して表示

＜日常・支え＞

- 落ち込んでいるときに、そばにいてくれて励ましてくれた（20代女性・栃木県）
- 疲れているのを察して家事の手伝いをしてくれた（50代女性・愛媛県）
- 病気をしたとき、寄り添ってくれた（60代女性・奈良県）
- 病気になって死にたくなるくらい辛かったが支えてくれた（40代女性・鳥取県）
- コロナで寝込んだ際、妻が寝ずにつきっきりで看病してくれた（40代男性・福島県）
- コロナになったとき、仕事を休んでつきっきりで看病してくれた（20代男性・青森県）
- ガンの宣告を受けたとき献身的に寄り添ってくれた（60代男性・北海道）

＜お祝い＞

- 娘たちがサプライズで誕生日パーティーをしてくれた（60代女性・東京都）
- 母の日に子どもたちと夫が協力してプレゼントを用意してくれた（40代女性・茨城県）
- 父の日に似顔絵を描いてくれた（20代男性・大分県）
- みんなで家族の誕生日を祝った（40代男性・新潟県）
- 子どもたちがサプライズで還暦祝いをしてくれた（60代女性・大阪府）
- 結婚記念日を家族全員で祝ってくれた（50代男性・滋賀県）

＜仕事＞

- 夜遅くに仕事から帰ってきたとき、起きて待っていてくれた（20代男性・香川県）
- 仕事から帰ると家族で出迎えてくれた（30代男性・徳島県）
- 仕事で苦しいときもそばに寄り添って支えてくれた（30代男性・東京都）
- 仕事で疲れた日、一緒になって話を聞いてくれた（20代男性・福井県）
- 仕事を退職したとき支えてくれた（20代男性・東京都）

＜子ども＞

- 離れて暮らしている子どもから誕生日のメッセージが来た（50代男性・愛媛県）
- 娘が就職して初給料でご馳走してくれた（50代女性・京都府）
- 子どもが「パパとママへ」と手紙を書いてくれた（20代男性・奈良県）

＜旅行＞

- 旅行に行ってみみんなで笑い合えた（20代女性・山梨県）
- 旅行に出かけて美味しい料理や綺麗な景色を楽しめた（40代女性・徳島県）
- 旅行でサプライズをしてくれた（20代女性・大阪府）

・今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”を何回伝えた？ 平均は 34.3 回

1 位「北海道」71.1 回、2 位「熊本県」66.7 回、3 位「神奈川県」60.0 回 最下位は「群馬県」13.4 回

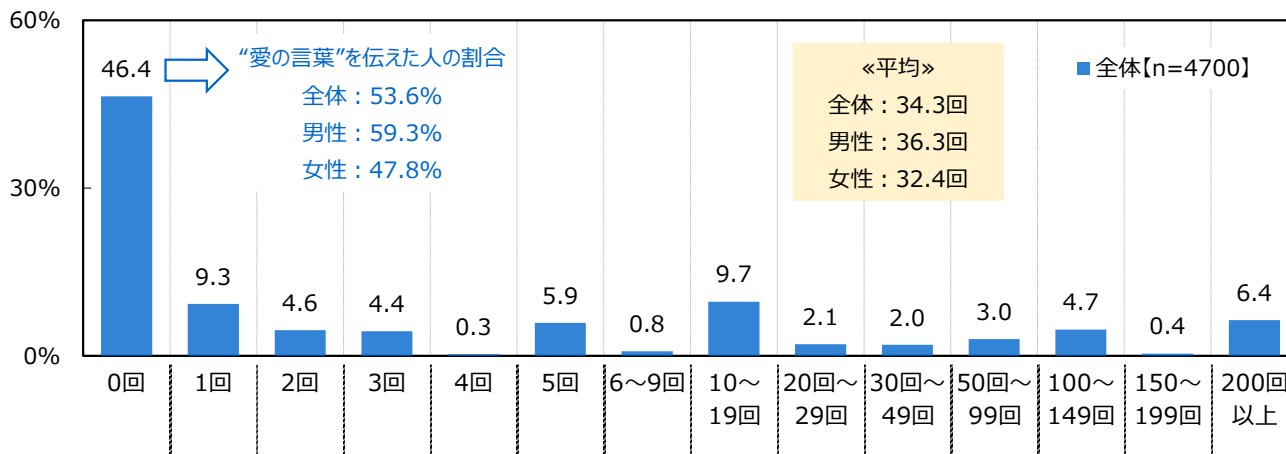
・配偶者・パートナーへの“愛の言葉”の伝え方「直接面と向かって」がダントツ、2 位「メッセージアプリで」

配偶者・パートナーに伝える“愛の言葉”について質問しました。

全回答者（4,700 名）に、今年、配偶者・パートナーに何回くらい“愛の言葉”（愛してる・好きなど）を伝えたか聞いたところ、「1 回」（9.3%）や「5 回」（5.9%）、「10～19 回」（9.7%）、「100～149 回」（4.7%）、「200 回以上」（6.4%）などに回答が分かれ、平均は 34.3 回でした。また、「0 回」は 46.4%で、“愛の言葉”を伝えた人の割合は 53.6%となりました。配偶者・パートナーに対し、愛する気持ちをしっかりと言葉に出して伝えている人が多いようです。

男女別に見ると、配偶者・パートナーに“愛の言葉”を伝えた回数の平均は、男性では 36.3 回と女性（32.4 回）と比べて 3.9 回多くなり、“愛の言葉”を伝えた人の割合は男性では 59.3%と女性（47.8%）と比べて 11.5 ポイント高くなりました。

◆今年、配偶者・パートナーに何回くらい“愛の言葉”（愛してる・好きなど）を伝えたか（数値入力形式）



都道府県別にみると、今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”（愛してる・好きなど）を伝えた回数の平均は、北海道（71.1 回）が最も多くなり、熊本県（66.7 回）、神奈川県（60.0 回）、長崎県（50.7 回）、新潟県（49.0 回）が続き、最も少なくなったのは群馬県の 13.4 回でした。

◆今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”（愛してる・好きなど）を伝えた回数（平均）

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	回数	順位	都道府県	回数	順位	都道府県	回数	順位	都道府県	回数
1位	北海道	71.1	12位	兵庫県	41.5	24位	宮崎県	31.5	36位	三重県	25.7
2位	熊本県	66.7	13位	石川県	39.4	25位	岐阜県	31.3	37位	富山県	25.4
3位	神奈川県	60.0	14位	青森県	39.2	26位	愛媛県	31.0	38位	和歌山県	25.3
4位	長崎県	50.7	15位	東京都	38.3	27位	岡山県	30.4	39位	福岡県	24.9
5位	新潟県	49.0	16位	秋田県	38.0	28位	茨城県	30.3	40位	徳島県	23.5
6位	福井県	48.3	17位	宮城県	36.0	29位	大阪府	30.0	41位	佐賀県	23.3
7位	沖縄県	46.6	18位	静岡県	35.8	30位	島根県	29.9	42位	埼玉県	22.1
8位	京都府	46.1	19位	山梨県	34.8	31位	山形県	27.8	43位	奈良県	19.6
9位	滋賀県	45.2	20位	高知県	34.4	32位	広島県	27.3	44位	香川県	18.6
10位	長野県	43.7	21位	福島県	33.8	33位	千葉県	26.6	45位	鹿児島県	17.9
	愛知県	43.7	22位	栃木県	33.5	34位	岩手県	26.4	46位	大分県	17.0
			23位	鳥取県	33.3	35位	山口県	25.8	47位	群馬県	13.4

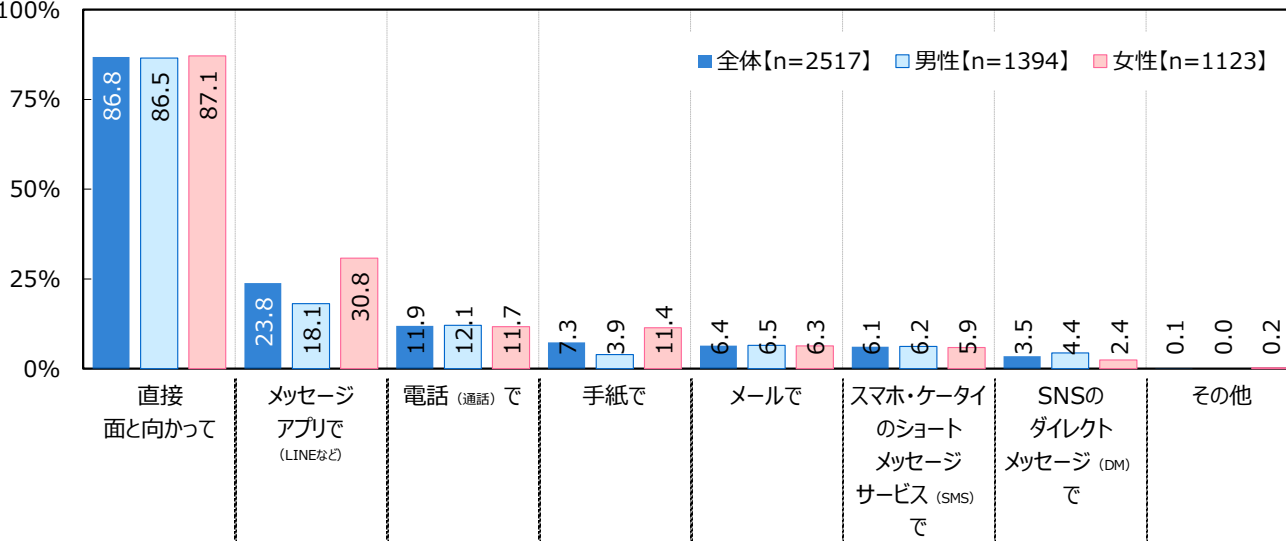
今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”を伝えた方（2,517名）に、“愛の言葉”を伝える際、どのようにして伝えているか聞いたところ、「直接面と向かって」（86.8%）が突出して高くなりました。次いで高くなったのは、「メッセージアプリで（LINEなど）」（23.8%）、「電話（通話）で」（11.9%）でした。

男女別にみると、女性では「メッセージアプリで（LINEなど）」が30.8%と、男性（18.1%）と比べて12.7ポイント高くなりました。

◆配偶者・パートナーに“愛の言葉”を伝える際、どのようにして伝えているか（複数回答形式）

対象：今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”を伝えた方

100%



**・配偶者・パートナーに伝えたい“愛の言葉” 「いつもありがとう」「好きだよ」「愛してるよ」「健康でいてね」など
ご当地言葉・方言では「おおきに」「だんだん」「愛しとるよ」「愛しとーよ」「好きやで」「好きやよ」「好いとう」など
・家族に対し体調を気遣う際にかける言葉 「大丈夫？」「元気？」「疲れてない？」「無理しないでね」など
ご当地言葉・方言では「いける？」「大丈夫け？」「しんどい？」「無理せんように」「無理したらあかんよ」など**

全回答者（4,700名）に、配偶者・パートナーに伝えたい“愛の言葉”（普段使っている言葉【ご当地言葉・方言など】一言で）を聞いたところ、「ありがとう」や「いつもありがとう」、「好きだよ」、「大好きだよ」、「一緒にいてくれてありがとう」、「愛してる」、「愛してるよ」、「いつまでも一緒だよ」、「頼りにしてます」、「健康でいてね」といった言葉が多く挙がりました。

ご当地言葉・方言をみると、〈ありがとう〉にあたる言葉では「おおきに」（京都府）や「だんだん」（島根県）、〈愛してる・愛してるよ〉にあたる言葉では「愛しとるよ」（福岡県）や「愛しとーよ」（熊本県）、「愛しちよるよ」（宮崎県）、「愛しとう」（福岡県）、〈好きだよ・大好きだよ〉にあたる言葉では「好きやで」（京都府）や「好きやわあ」（岐阜県）、「好きやよ」（石川県）、「好きなんよ」（愛媛県）、「好きっちゃ」（福岡県）、「好きだっぺ」（茨城県）、「好きばい」（佐賀県）、「好いとう」（佐賀県）といった言葉がありました。

◆配偶者・パートナーに伝えたい“愛の言葉”（普段使っている言葉【ご当地言葉・方言など】一言で）（自由回答形式）

■多く挙げた言葉（標準語を抜粋）

ありがとう / いつもありがとう /
好き / 大好き /
好きだよ / 大好きだよ /
一緒にいてくれてありがとう /
そばにいてくれてありがとう /
結婚してくれてありがとう /
愛してる / 愛してるよ /
ずっと一緒 / いつまでも一緒だよ /
一緒にいたい / 感謝してます /
頼りにしてます / これからもよろしく /
健康でいてね

■ご当地言葉・方言（抜粋）

〈ありがとう〉	〈好きだよ・大好きだよ〉
おおきに（京都府）	好きやで（京都府）
だんだん（島根県）	好きやわあ（岐阜県）
	好きやでー（奈良県）
〈愛してる・愛してるよ〉	好きやよ（石川県）
愛しとるよ（福岡県）	好きやけん（香川県）
愛しとーよ（熊本県）	好きなんよ（愛媛県）
愛したる（岩手県）	好きっちゃ（福岡県）
愛しちゆう（高知県）	大好きやけんね（山口県）
愛しちよるよ（宮崎県）	好きだえ（島根県）
愛しとう（福岡県）	好きだっぺ（茨城県）
	好きばい（佐賀県）
	好いとう（佐賀県）

家族に対し体調を気遣う際にかける言葉（普段使っている言葉【ご当地言葉・方言など】一言で）を聞いたところ、「大丈夫？」や「元気？」、「疲れてない？」、「無理しないでね」、「頑張りすぎないでね」、「ゆっくり休んでね」といった言葉が多く挙がりました。

ご当地言葉・方言をみると、〈大丈夫？〉にあたる言葉では「いける？」（徳島県）や「大丈夫け？」（富山県）、「大丈夫なん？」（愛媛県）、「大丈夫ね？」（佐賀県）、〈疲れてない？〉にあたる言葉では「しんどい？」（大阪府）や「しんどいん？」（香川県）、「疲れてへんか？」（大阪府）、〈無理しないでね〉にあたる言葉では「無理せんでね」（鳥取県）や「無理せんように」（広島県）、「無理したらあかんよ」（大阪府）、「無理しんときや」（滋賀県）といった言葉がありました。

◆家族に対し体調を気遣う際にかける言葉（普段使っている言葉【ご当地言葉・方言など】一言で）（自由回答形式）

■多く挙げた言葉（標準語を抜粋）

大丈夫？
体調大丈夫？
元気？
疲れてない？
無理しないでね
頑張りすぎないでね
気をつけてね
ゆっくり休んでね
ゆっくりしてね

■ご当地言葉・方言（抜粋）

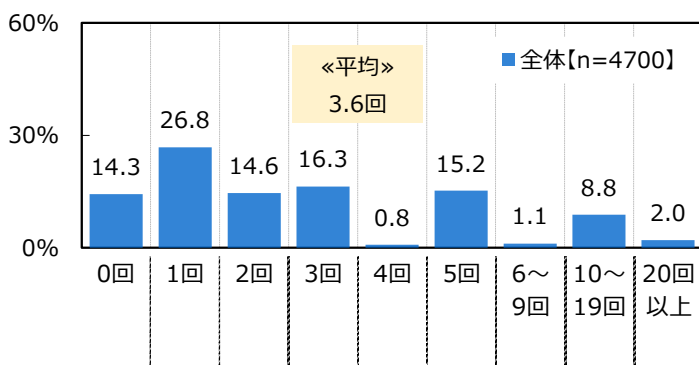
〈大丈夫？〉	〈無理しないでね〉
いける？（徳島県）	無理せんでね（鳥取県）
大丈夫け？（富山県）	無理せんように（広島県）
大丈夫なん？（愛媛県）	無理したらあかんよ（大阪府）
大丈夫ね？（佐賀県）	無理しんときや（滋賀県）
	無理せられんよ（徳島県）
〈疲れてない？〉	
しんどい？（大阪府）	
しんどいん？（香川県）	
疲れてへんか？（大阪府）	

**・配偶者・パートナーに“ありがとう”と言っている回数 平均は 3.6 回/日、1 位は福岡県で 6.0 回/日
 言っつもりでも伝わっていない？ “ありがとう”と言っている回数と言われている回数差 1 位は新潟県で 2.0 回差/日**

全回答者（4,700 名）に、配偶者・パートナーに 1 日で何回くらい“ありがとう”と言っているか聞いたところ、「1 回」（26.8%）に最も多くの回答が集まったほか、「3 回」（16.3%）や「5 回」（15.2%）にも回答がみられ、平均は 3.6 回でした。また、「0 回」は 14.3%となりました。

都道府県別にみると、配偶者・パートナーに 1 日に“ありがとう”と言っている回数の平均は、福岡県（6.0 回）が最も多くなり、滋賀県（5.5 回）、沖縄県（5.3 回）が続きました。

◆ 配偶者・パートナーに1日で何回くらい“ありがとう”と言っているか
 （数値入力形式）



◆ 配偶者・パートナーに1日に“ありがとう”と言っている回数
 （平均） ※上位10位までを表示

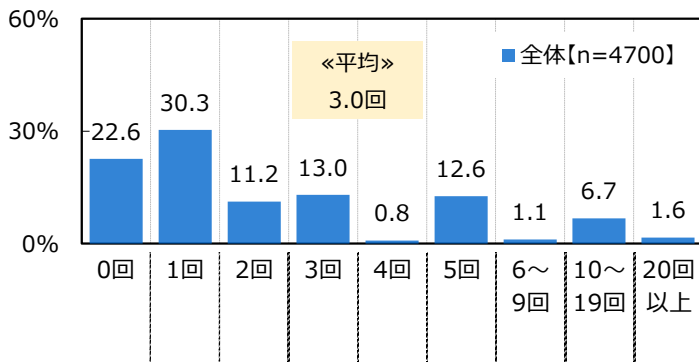
各都道府県【n=100】

順位	都道府県	回数
1位	福岡県	6.0
2位	滋賀県	5.5
3位	沖縄県	5.3
4位	秋田県	4.7
5位	新潟県	4.7
6位	石川県	4.5
7位	愛知県	4.3
8位	鹿児島県	4.2
9位	福島県	4.1
9位	大分県	4.1
9位	宮崎県	4.1

他方、配偶者・パートナーから 1 日で何回くらい“ありがとう”と言われているか聞いたところ、「1 回」（30.3%）に最も多くの回答が集まったほか、「3 回」（13.0%）や「5 回」（12.6%）にも回答が集まり、平均は 3.0 回でした。また、「0 回」は 22.6%となりました。平均回数を比較すると、“言っている回数”（3.6 回）と“言われている回数”（3.0 回）とで差がみられました。実際は相手に伝わっておらず、“言っつもり”になっているケースがあるのではないのでしょうか。

都道府県別にみると、配偶者・パートナーから 1 日に“ありがとう”と言われている回数の平均は、福岡県（5.1 回）が最も多くなり、沖縄県（4.8 回）、山形県（4.4 回）が続きました。

◆ 配偶者・パートナーに1日で何回くらい“ありがとう”と言われているか
 （数値入力形式）



◆ 配偶者・パートナーに1日に“ありがとう”と言われている回数
 （平均） ※上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	回数
1位	福岡県	5.1
2位	沖縄県	4.8
3位	山形県	4.4
4位	鹿児島県	4.3
5位	滋賀県	4.2
6位	鳥取県	4.0
7位	秋田県	3.9
8位	愛知県	3.7
9位	長崎県	3.5
10位	神奈川県/京都府/熊本県/宮崎県	3.3

1 日に“ありがとう”と言っている回数の平均と言われている回数の平均の差をみると、新潟県が 2.0 回と突出して多くなりました。次いで、埼玉県と和歌山県（いずれも 1.4 回）、北海道と石川県、滋賀県（いずれも 1.3 回）となりました。

“ありがとう”と言っている回数 (平均)			“ありがとう”と言われている回数 (平均)			“ありがとう”と言っている回数 (平均) - “ありがとう”と言われている回数 (平均)		
各都道府県【n=100】			各都道府県【n=100】			各都道府県【n=100】		
		回			回			回
1位	福岡県	6.0	1位	福岡県	5.1	1位	新潟県	2.0
2位	滋賀県	5.5	2位	沖縄県	4.8	2位	埼玉県	1.4
3位	沖縄県	5.3	3位	山形県	4.4		和歌山県	1.4
4位	秋田県	4.7	4位	鹿児島県	4.3	4位	北海道	1.3
6位	新潟県	4.7	5位	滋賀県	4.2		石川県	1.3
7位	石川県	4.5	6位	鳥取県	4.0		滋賀県	1.3
8位	愛知県	4.3	7位	秋田県	3.9	7位	大阪府	1.2
9位	鹿児島県	4.2	8位	愛知県	3.7	8位	兵庫県	1.1
	福島県	4.1	9位	長崎県	3.5		大分県	1.1
	大分県	4.1		神奈川県	3.3	10位	長野県	1.0
	宮崎県	4.1	10位	京都府	3.3		山口県	1.0
12位	東京都	4.0		熊本県	3.3	13位	福岡県	1.0
	大阪府	4.0		宮崎県	3.3		福島県	0.9
	埼玉県	3.9	14位	福島県	3.2		茨城県	0.9
14位	神奈川県	3.9		東京都	3.2		岩手県	0.8
	鳥取県	3.9		石川県	3.2	15位	秋田県	0.8
17位	山形県	3.8	17位	岐阜県	3.1		東京都	0.8
18位	北海道	3.7		三重県	3.1		静岡県	0.8
	熊本県	3.7		山梨県	3.0		徳島県	0.8
	長野県	3.6	19位	岡山県	3.0	20位	宮崎県	0.7
20位	三重県	3.6		高知県	3.0		宮城県	0.6
	和歌山県	3.6		大分県	3.0	21位	神奈川県	0.6
	山口県	3.6	23位	青森県	2.9		愛知県	0.6
24位	山梨県	3.5	24位	静岡県	2.8		三重県	0.6
	静岡県	3.5		大阪府	2.8		広島県	0.6
26位	茨城県	3.4		新潟県	2.7		山梨県	0.5
	兵庫県	3.4	26位	長野県	2.7		島根県	0.5
	青森県	3.3		奈良県	2.7	26位	香川県	0.5
28位	岐阜県	3.3		佐賀県	2.7		愛媛県	0.5
	長崎県	3.3		宮城県	2.6		沖縄県	0.5
31位	宮城県	3.2	30位	埼玉県	2.6		青森県	0.4
	京都府	3.2		千葉県	2.6		栃木県	0.4
	奈良県	3.1		山口県	2.6	31位	富山県	0.4
33位	岡山県	3.1	34位	茨城県	2.5		福井県	0.4
	広島県	3.1		広島県	2.5		奈良県	0.4
	高知県	3.1		北海道	2.4		熊本県	0.4
37位	徳島県	3.0	36位	福井県	2.4		佐賀県	0.4
	佐賀県	3.0		香川県	2.4	38位	群馬県	0.3
39位	千葉県	2.9		栃木県	2.3		千葉県	0.3
	香川県	2.9		群馬県	2.3	40位	岐阜県	0.2
	栃木県	2.8	39位	兵庫県	2.3	41位	岡山県	0.1
41位	福井県	2.8		島根県	2.3		高知県	0.1
	島根県	2.8		徳島県	2.3		京都府	-0.1
	愛媛県	2.8		愛媛県	2.3	43位	鳥取県	-0.1
45位	岩手県	2.7	45位	和歌山県	2.2		鹿児島県	-0.1
	群馬県	2.7	46位	富山県	2.1	46位	長崎県	-0.3
47位	富山県	2.5	47位	岩手県	2.0	47位	山形県	-0.7

*マイナス (-) は、言われている回数のほうが多い場合

◆配偶者・パートナーとの喧嘩について

・今年起きた夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩の回数は平均 11.5 回、1 位は徳島県で 21.0 回

・配偶者・パートナーに“ごめんね”と言っている回数は平均 5.8 回/月、1 位は鹿児島県で 9.5 回/月

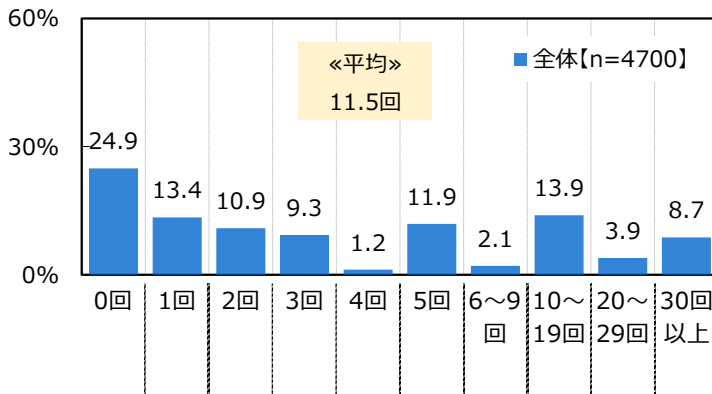
・「喧嘩をしたときに先に謝るのは“妻・女性パートナー”より“夫・男性パートナー”」62%、徳島県では 72%

配偶者・パートナーとの喧嘩について質問しました。

全回答者（4,700 名）に、今年、夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩を何回くらいしたか聞いたところ、「0 回」（24.9%）に最も多くの回答が集まったほか、「1 回」（13.4%）や「5 回」（11.9%）、「10～19 回」（13.9%）にも回答がみられ、平均は 11.5 回でした。

都道府県別にみると、夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩をした回数の平均は、徳島県（21.0 回）が最も多くなり、埼玉県（19.5 回）、岐阜県（17.8 回）が続きました。

◆今年、夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩を何回くらいしたか（数値入力形式）



◆今年、夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩をした回数（平均） ※上位10位までを表示

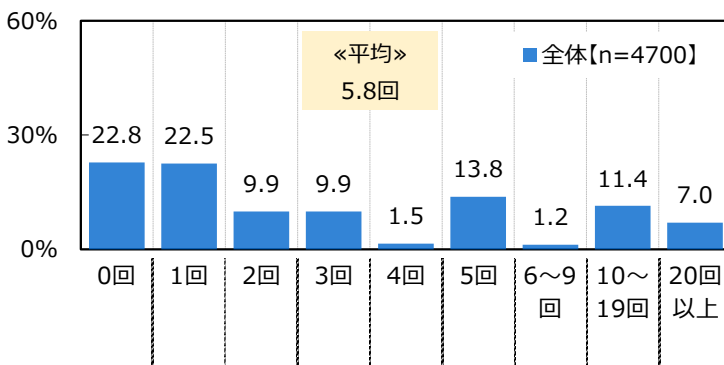
各都道府県【n=100】

順位	都道府県	回数
1位	徳島県	21.0
2位	埼玉県	19.5
3位	岐阜県	17.8
4位	長野県	16.7
	鳥取県	16.7
	鹿児島県	16.7
7位	岡山県	16.5
8位	静岡県	15.6
9位	滋賀県	15.3
10位	奈良県	14.9

また、配偶者・パートナーに 1 カ月に何回くらい“ごめんね”と言っているか聞いたところ、「0 回」（22.8%）や「1 回」（22.5%）、「5 回」（13.8%）などに回答が分かれ、平均は 5.8 回でした。

都道府県別にみると、配偶者・パートナーに 1 カ月に“ごめんね”と言っている回数の平均は、鹿児島県（9.5 回）が最も多くなり、神奈川県（9.3 回）、静岡県（8.9 回）が続きました。

◆配偶者・パートナーに1カ月に何回くらい“ごめんね”と言っているか（数値入力形式）



◆配偶者・パートナーに1カ月に“ごめんね”と言っている回数（平均） ※上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	回数
1位	鹿児島県	9.5
2位	神奈川県	9.3
3位	静岡県	8.9
4位	福岡県	8.6
5位	東京都	7.9
6位	愛知県	7.5
	鳥取県	7.5
8位	北海道/青森県/山形県/京都府	7.0

では、喧嘩をした際、先に謝るのは夫・男性パートナーと妻・女性パートナーのどちらが多いのでしょうか。

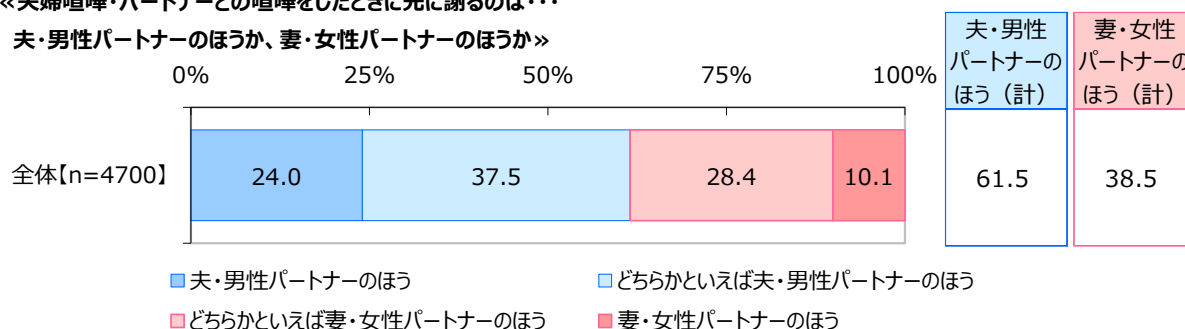
夫婦の関係やパートナーとの関係に関して、「夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩をしたときに先に謝る」では自分と相手（配偶者・パートナー）のどちらのほうがあてはまるか聞き、「夫・男性パートナーのほう」と「妻・女性パートナーのほう」のどちらのほうがあてはまるかを集計したところ、『夫・男性パートナーのほう（計）』は61.5%、『妻・女性パートナーのほう（計）』は38.5%となりました。

都道府県別にみると、『夫・男性パートナーのほう（計）』が最も高くなったのは徳島県（72.0%）、『妻・女性パートナーのほう（計）』が最も高くなったのは福井県（52.0%）でした。

◆夫婦の関係・パートナーとの関係（単一回答形式）

「夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩をしたときに先に謝るのは…」

夫・男性パートナーのほうか、妻・女性パートナーのほうか



◆夫婦の関係・パートナーとの関係（単一回答形式） ※上位5位までを表示

「夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩をしたときに先に謝るのは…」

各都道府県【n=100】

	夫・男性パートナーのほう	%		妻・女性パートナーのほう	%
1位	徳島県	72.0	1位	福井県	52.0
2位	福岡県	71.0	2位	京都府	48.0
3位	山梨県	68.0	3位	大分県	47.0
	三重県	68.0	4位	滋賀県	45.0
5位	秋田県	67.0		鳥取県	45.0
		宮崎県	67.0		

・配偶者・パートナーに対して“イライラ”することがあるもの

TOP5「スマホばかり見ている」「電気・水を無駄遣いする」「イビキがうるさい」「家事をしない」「お金の無駄遣いをする」

喧嘩につながるようなイライラの対象になるのはどのようなことなのでしょう。

全回答者（4,700名）に、配偶者・パートナーに対して“イライラ”することがあるものを聞いたところ、1位「スマホばかり見ている」（19.0%）となりました。話しかけてもスマホばかり見ていて上の空だったり、常にスマホをいじったりしている姿を目にしてイライラを募らせている人が多いようです。次いで、2位「電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）」（16.7%）、3位「イビキがうるさい」（15.5%）、4位「家事をしない」（14.1%）、5位「お金の無駄遣いをする」（14.0%）となりました。無駄遣い、睡眠の妨げとなるような“うるさいイビキ”、家事に非協力的な態度もイライラの原因となるようです。

男女別にみると、男性では1位「愚痴が多い」（15.4%）、2位「お金の無駄遣いをする」（12.1%）、3位「スマホばかり見ている」（11.6%）、4位「電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）」（11.0%）、5位「ゴミを片付けない」（9.4%）、女性では1位「スマホばかり見ている」（26.4%）、2位「イビキがうるさい」（25.4%）、3位「電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）」（22.5%）、4位「家事をしない」（21.7%）、5位「ゴミを片付けない」（17.8%）でした。

◆配偶者・パートナーに対して“イライラ”することがあるもの（複数回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=4700】	%
1位	スマホばかり見ている	19.0
2位	電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）	16.7
3位	イビキがうるさい	15.5
4位	家事をしない	14.1
5位	お金の無駄遣いをする	14.0
6位	ゴミを片付けない	13.6
7位	愚痴が多い	12.2
8位	使った食器を片付けない	10.7
9位	服を脱ぎっぱなしにする	10.4
10位	休日に寝てばかりいる	10.2

男性【n=2350】			女性【n=2350】		
		%			%
1位	愚痴が多い	15.4	1位	スマホばかり見ている	26.4
2位	お金の無駄遣いをする	12.1	2位	イビキがうるさい	25.4
3位	スマホばかり見ている	11.6	3位	電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）	22.5
4位	電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）	11.0	4位	家事をしない	21.7
5位	ゴミを片付けない	9.4	5位	ゴミを片付けない	17.8
6位	外出前の身支度が長い	8.2	6位	お金の無駄遣いをする	15.8
7位	家事をしない	6.6	7位	服を脱ぎっぱなしにする	15.3
8位	家事・育児アピールをする（“○○やったよ”など）	6.4	8位	使った食器を片付けない	15.2
9位	使った食器を片付けない	6.3	9位	休日に寝てばかりいる	14.5
10位	休日に寝てばかりいる	5.9	10位	自分勝手にテレビのチャンネルを変える	14.0

◆親孝行について

・これまでに自分が親にした親孝行 1位「プレゼントをする」2位「孫の顔を見せる」3位「一緒に外食する」

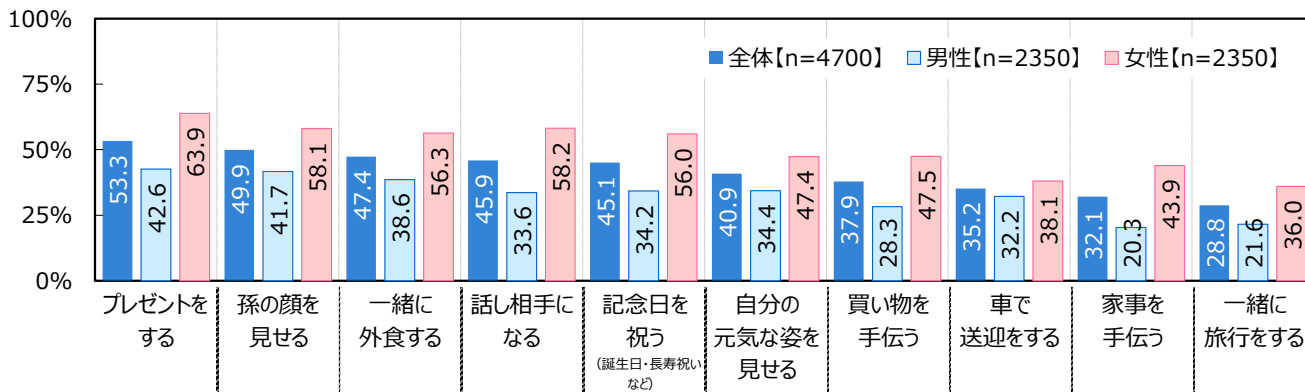
・これから親にしたいと思う親孝行 20代・30代の2人に1人が「孫の顔を見せる」と回答

親孝行について質問しました。

全回答者（4,700名）に、これまでにした親孝行を聞いたところ、「プレゼントをする」（53.3%）が最も高くなりました。節目のタイミングや家族のイベントなどの際に、プレゼントを渡して日頃の感謝の気持ちや労いの気持ちを伝えた人が多いようです。次いで高くなったのは、「孫の顔を見せる」（49.9%）、「一緒に外食する」（47.4%）、「話し相手になる」（45.9%）、「記念日を祝う（誕生日・長寿祝いなど）」（45.1%）でした。

男女別に見ると、女性では「プレゼントをする」が63.9%、「話し相手になる」が58.2%、「記念日を祝う（誕生日・長寿祝いなど）」が56.0%、「家事を手伝う」が43.9%と、男性（順に42.6%、33.6%、34.2%、20.3%）と比べて20ポイント以上高くなりました。

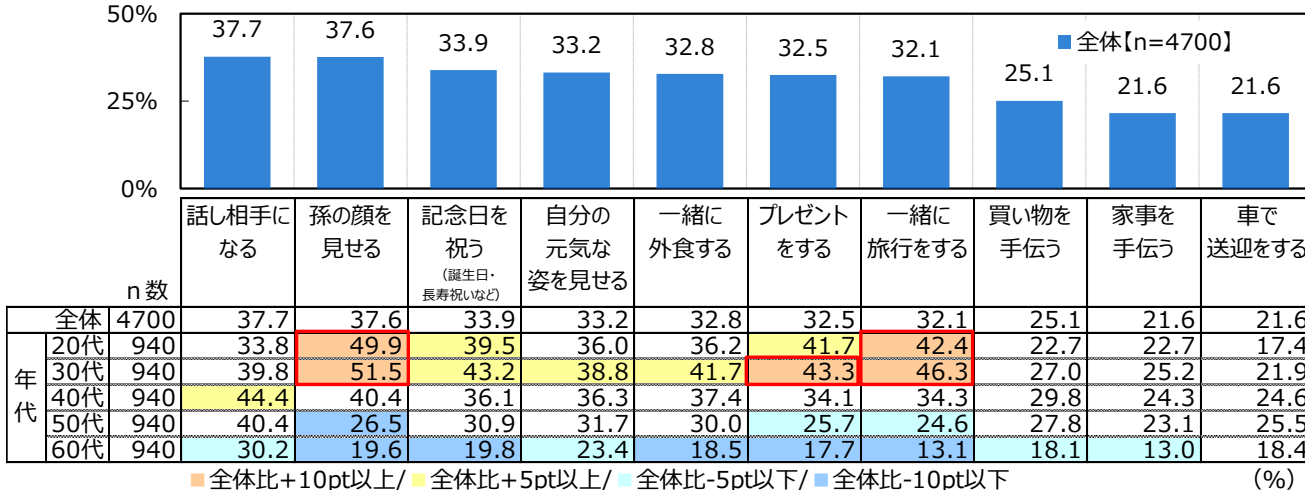
◆これまでにした親孝行（複数回答形式） ※上位10位までを表示



これから親にしたいと思う親孝行を聞いたところ、「話し相手になる」（37.7%）と「孫の顔を見せる」（37.6%）が特に高くなり、「記念日を祝う（誕生日・長寿祝いなど）」（33.9%）、「自分の元気な姿を見せる」（33.2%）、「一緒に外食する」（32.8%）が続きました。

年代別に見ると、20代と30代では「孫の顔を見せる」（順に49.9%、51.5%）と「一緒に旅行をする」（42.4%、46.3%）、30代では「プレゼントをする」（43.3%）が全体と比べて10ポイント以上高くなりました。

◆これから親にしたいと思う親孝行（複数回答形式） ※上位10位までを表示



・子どもにしてほしい親孝行 1位「元気な姿を見せてくれる」2位「一緒に旅行をしてくれる」3位「一緒に外食してくれる」

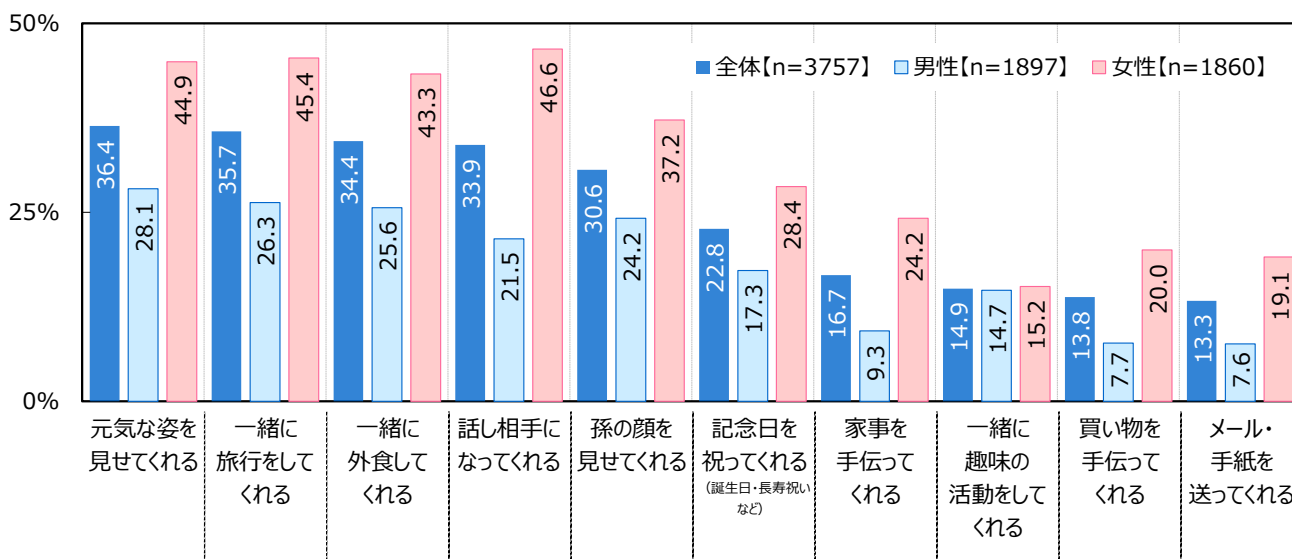
自身の子どもに親孝行をしてもらおうとしたら、どのようなことを希望する人が多いのでしょうか。

子どもがいる方（3,757名）に、子どもにしてほしいと思う親孝行を聞いたところ、「元気な姿を見せてくれる」（36.4%）が最も高くなりました。高価なものを準備したり、お金をかけて何か特別なことをしたりするわけではなく、ただ元気な姿を見せてくれることがうれしいと感じる人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「一緒に旅行をしてくれる」（35.7%）、「一緒に外食してくれる」（34.4%）、「話し相手になってくれる」（33.9%）、「孫の顔を見せてくれる」（30.6%）でした。

男女別にみると、女性では「話し相手になってくれる」が46.6%と、男性（21.5%）と比べて25ポイント以上高くなりました。

◆子どもにしてほしいと思う親孝行（複数回答形式） ※上位10位までを表示

対象：子どもがいる方



◆“家族愛”とエンタメ

・家族愛が強いと思う芸能人 男性芸能人 1位「ヒロミさん」、女性芸能人 1位「辻希美さん」

・家族愛が強いと思うスポーツ選手 男性選手 1位「長友佑都さん」、女性選手 1位「浜口京子さん」

・家族愛が強いと思うアニメキャラ 男性キャラ 1位「竈門炭治郎」、女性キャラ 1位「フグ田サザエ」

最後に、全回答者（4,700名）に、“家族愛が強い”というイメージに合うと思う人物やアニメキャラ、家族へ愛を伝える際に歌いたい曲について質問しました。

“家族愛が強い”というイメージに合う【芸能人】についてみると、男性芸能人では1位「ヒロミさん」（400名）、2位「杉浦太陽さん」（330名）、3位「つるの剛士さん」（244名）、女性芸能人では「辻希美さん」（642名）がダントツ、2位「北斗晶さん」（256名）、3位「杏さん」（138名）となり、杉浦太陽・辻希美夫妻がそれぞれTOP3に挙がりました。

“家族愛が強い”というイメージに合う【スポーツ選手（引退した人含む）】についてみると、男性スポーツ選手では1位「長友佑都さん」（320名）、2位「イチローさん」（262名）、3位「田中将大さん」（163名）、女性スポーツ選手では1位「浜口京子さん」（289名）、2位「北斗晶さん」（246名）、3位「谷亮子さん」（161名）となりました。

“家族愛が強い”というイメージに合う【アニメキャラ】についてみると、男性アニメキャラでは1位「竈門炭治郎（鬼滅の刃）」（396名）、2位「野原ひろし（クレヨンしんちゃん）」（347名）、3位「フグ田マスオ（サザエさん）」（314名）、女性アニメキャラでは「フグ田サザエ（サザエさん）」（796名）がダントツ、2位「野原みさえ（クレヨンしんちゃん）」（258名）、3位「竈門禰豆子（鬼滅の刃）」（199名）となり、TOP3は竈門炭治郎・竈門禰豆子兄妹、野原ひろし・野原みさえ夫妻、フグ田マスオ・フグ田サザエ夫妻が占める結果となりました。

◆“家族愛が強い”というイメージに合うと思う人物・アニメキャラ（各自由回答形式）

全体【n=4700】 ※上位10位までを表示

男性芸能人			男性スポーツ選手（引退した人含む）			男性アニメキャラ		
順位	名前	名	順位	名前	名	順位	名前	名
1位	ヒロミ	400	1位	長友佑都	320	1位	竈門炭治郎（鬼滅の刃）	396
2位	杉浦太陽	330	2位	イチロー	262	2位	野原ひろし（クレヨンしんちゃん）	347
3位	つるの剛士	244	3位	田中将大	163	3位	フグ田マスオ（サザエさん）	314
4位	木村拓哉	174	4位	ダルビッシュ有	134	4位	磯野波平（サザエさん）	181
5位	高橋英樹	154	5位	佐々木健介	132	5位	孫悟空（ドラゴンボール）	164
6位	DAIGO	104	6位	大久保嘉人	129	6位	バカボンのパパ（天オバカボン）	125
7位	三浦友和	89	7位	三浦知良	119	7位	モンキー・D・ルフィ（ONE PIECE）	109
8位	佐々木健介	76	8位	大谷翔平	87	8位	野原しんのすけ（クレヨンしんちゃん）	69
9位	福山雅治	73	9位	アレックス・ラミレス	51	9位	野比のび太（ドラえもん）	57
10位	庄司智春	64	10位	羽生結弦	48	10位	ドラえもん（ドラえもん）	52
女性芸能人			女性スポーツ選手（引退した人含む）			女性アニメキャラ		
順位	名前	名	順位	名前	名	順位	名前	名
1位	辻希美	642	1位	浜口京子	289	1位	フグ田サザエ（サザエさん）	796
2位	北斗晶	256	2位	北斗晶	246	2位	野原みさえ（クレヨンしんちゃん）	258
3位	杏	138	3位	谷亮子	161	3位	竈門禰豆子（鬼滅の刃）	199
4位	榎原郁恵	106	4位	吉田沙保里	150	4位	磯野フネ（サザエさん）	151
5位	工藤静香	94	5位	浅田真央	128	5位	さくらももこ（ちびまる子ちゃん）	96
6位	北川景子	91	6位	澤穂希	83	6位	ナミ（ONE PIECE）	66
7位	松本伊代	84	7位	杉山愛	66	7位	チチ（ドラゴンボール）	58
8位	藤本美貴	83	8位	大坂なおみ	65	8位	バカボンのママ（天オバカボン）	51
9位	仲里依紗	58	9位	潮田玲子	62	9位	ブルマ（ドラゴンボール）	42
10位	松嶋菜々子	47	10位	丸山桂里奈	60	10位	ヨル・フォージャー（SPY×FAMILY）	41

・家族へ愛を伝える際に歌いたい曲

「家族になろうよ」がダントツ、2位「ありがとう」3位「HOME」「アイノカタチ」5位「糸」

家族へ愛を伝える際に歌いたい曲を聴いたところ、「家族になろうよ（福山雅治）」（515名）がダントツでした。心に染みるような感動的な歌詞に、自身の家族に対する思いを乗せて届けたいと思う人が多いのではないのでしょうか。次いで、2位「ありがとう（いきものがかり）」（165名）、3位「HOME（木山裕策）」「アイノカタチ（MISIA）」（いずれも69名）、5位「糸（中島みゆき）」（65名）となりました。

男女別にみると、男性・女性とも1位は「家族になろうよ（福山雅治）」（順に239名、276名）、2位は「ありがとう（いきものがかり）」（35名、130名）となり、男性では「I LOVE YOU（尾崎豊）」（27名）が3位、女性では「アイノカタチ（MISIA）」（56名）が3位でした。

年代別にみると、いずれの年代でも1位は「家族になろうよ（福山雅治）」、2位は「ありがとう（いきものがかり）」となり、20代では「ありがとうの輪（絢香）」、30代では「愛をこめて花束を（Superfly）」、40代では「HOME（木山裕策）」、50代と60代では「糸（中島みゆき）」が3位でした。

◆家族へ愛を伝える際に歌いたい曲（自由回答形式）

※全体と男女別の結果は上位10位、年代別の結果は上位5位までを表示

全体【n=4700】			男性【n=2350】			女性【n=2350】		
名	曲名	名	名	曲名	名	名	曲名	名
1位	家族になろうよ（福山雅治）	515	1位	家族になろうよ（福山雅治）	239	1位	家族になろうよ（福山雅治）	276
2位	ありがとう（いきものがかり）	165	2位	ありがとう（いきものがかり）	35	2位	ありがとう（いきものがかり）	130
3位	HOME（木山裕策）	69	3位	I LOVE YOU（尾崎豊）	27	3位	アイノカタチ（MISIA）	56
	アイノカタチ（MISIA）	69	4位	糸（中島みゆき）	26	4位	HOME（木山裕策）	44
5位	糸（中島みゆき）	65	5位	HOME（木山裕策）	25	5位	愛をこめて花束を（Superfly）	41
6位	愛をこめて花束を（Superfly）	57	6位	愛をこめて花束を（Superfly）	16	6位	糸（中島みゆき）	39
7位	虹（菅田将暉）	40	7位	パンザイ～好きでよかった～（ワルフルズ）	15	7位	未来へ（kiroro）	33
8位	未来へ（kiroro）	37	8位	アイノカタチ（MISIA）	13	8位	虹（菅田将暉）	27
9位	I LOVE YOU（尾崎豊）	30		乾杯（長瀬剛）	13	9位	ありがとうの輪（絢香）	21
10位	ありがとうの輪（絢香）	27		虹（菅田将暉）	13	10位	世界に一つだけの花（SMAP）	20
	世界に一つだけの花（SMAP）	27						

20代【n=940】			30代【n=940】		
名	曲名	名	名	曲名	名
1位	家族になろうよ（福山雅治）	100	1位	家族になろうよ（福山雅治）	113
2位	ありがとう（いきものがかり）	31	2位	ありがとう（いきものがかり）	31
3位	ありがとうの輪（絢香）	19	3位	愛をこめて花束を（Superfly）	22
4位	愛をこめて花束を（Superfly）	18	4位	HOME（木山裕策）	17
	虹（菅田将暉）	18	5位	アイノカタチ（MISIA）	12

40代【n=940】			50代【n=940】			60代【n=940】		
名	曲名	名	名	曲名	名	名	曲名	名
1位	家族になろうよ（福山雅治）	124	1位	家族になろうよ（福山雅治）	97	1位	家族になろうよ（福山雅治）	81
2位	ありがとう（いきものがかり）	41	2位	ありがとう（いきものがかり）	33	2位	ありがとう（いきものがかり）	29
3位	HOME（木山裕策）	20	3位	糸（中島みゆき）	15	3位	糸（中島みゆき）	26
4位	アイノカタチ（MISIA）	18	4位	アイノカタチ（MISIA）	13	4位	秋桜（山口百恵/さだまさし）	18
5位	未来へ（kiroro）	13	5位	HOME（木山裕策）	11	5位	アイノカタチ（MISIA）	13
				I LOVE YOU（尾崎豊）	11			

注：本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、内訳の計と合計が一致しない場合や、内訳を合計しても100%とならない場合があります。

《調査概要》

- ◆調査タイトル : 家族愛に関する調査 2022
- ◆調査対象 : ネットエイジアサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
20歳～69歳の既婚（事実婚含む）男女
- ◆調査期間 : 2022年10月7日～10月17日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 4,700名（有効回答から、各都道府県で男女・年代が均等になるように抽出）
（内訳）

男性	女性	計
2,350	2,350	4,700

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■■会社概要■■

- 会社名 : ジブラルタ生命保険株式会社 : The Gibraltar Life Insurance Co., Ltd.
- 本社所在地 : 〒100-8953 東京都千代田区永田町 2-13-10
- 代表者名 : 代表取締役社長 兼 CEO 添田 毅司（そえだ たけし）
- 営業開始 : 2001年4月3日
- 営業種目 : 個人保険、個人年金保険、団体保険、団体年金保険、再保険

**本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。**

■本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563